

目 次

No	市町村	食堂名など	開催日	タイトル	頁No.
579-1	各地	学校給食の食材を配布	4月13日	特集2 新型コロナに負けないぞ！	1
579-2	長野市	信州子ども食堂	4月18日		2
579-3	飯山市	いいやま子ども食堂	4月11日		3
580	小諸市	580-592 信州子ども食堂 in こもろ	4月・5月	通常と異なりお弁当で対応	4
585	長野市	信州子ども食堂・赤沼	5月9日	台風被災地で物資を配布	5
					6
586	長野市	まんぷく食堂	4月9日・5月16日	コロナに負けるな！食材お届け作戦	7
587	長野市	信州子ども食堂	5月16日	駐車場で支援物資を配布	8
589	長野市	長野牛乳	4月23日	長野牛乳様のご寄贈に笑顔	9
590	長野市	赤沼地区大田神社	5月17日	ドライブインシアター開催	10
594	長野市	赤沼551-14「信州子ども食堂」	6月22日	毎月第2土曜日GoGoいいよ	11
					12
595	長野市	信州子ども食堂	6月20日	会議室で物資6,000点を配布	13
598	長野市	信州子ども食堂 ドライブインシアター	6月27日	車に乗って映画を満喫	14
600	長野市	信州子ども食堂inこもろ	6月27日	予約がいっぱいテイクアウト	15
601	長野市	長沼小学校と豊野西小学校	7月10日	被災地小学校へお菓子を寄贈	16
602	長野市	信州子ども食堂 GoGoいいよ！	7月11日	雨にも負けずGoGoいいよ	17
604	木島平	木島平子どもカフェ	7月11日	久しぶりに開催 大盛況で新記録	18
606	長野市	信州子ども食堂 桜スクエア	7月18日	桜スクエアで信州子ども食堂	19
					20
605	飯綱町	飯綱町 てんぐカフェ	7月11日	新会場で再開 てんぐカフェ	21
609	中野市	なかの子ども食堂	7月25日	待ってました 5か月ぶり開催	22
611	長野市	こどもと誰でも食堂	7月25日	電話予約でお持ち帰りも おいでなして	23
616	飯綱町	飯綱町 てんぐカフェ	7月25日	親子で楽しく てんぐカフェ	24
618	長野市	信州子ども食堂GoGo いいよ	8月8日	長野青年会議所や学生らも支援	25
					26
627	飯山市	飯山子ども食堂	7～8月	体力とメニューを考えて運営中	27
628	飯綱町	飯綱町 てんぐカフェ	8月8日	親子で夏休みの工作と研究	28
634	長野市	信州子ども食堂 GoGoいいよ！	9月12日	GoGoいいよ最後の開催	29
					30
635	長野市	まんぷく食堂	8月1日	夏休み特別企画 ワカるとで遊ば	31
636	長野市	信州子ども食堂「柳町カフェ」	9月13日	オレンジカラーで世代の交流	32
638	長野市	信州子ども食堂 桜スクエア	9月19日	桜スクエアで青空子ども食堂	33
					34
637	飯山市	飯山子ども食堂	9月12日	美しく立派なお弁当を提供	35
640	長野市	信州子ども食堂「古里カフェ」	9月20日	手づくり屋台の楽しいお祭り	36
641	中野市	なかの子ども食堂	9月26日	常連さんに心地よい居場所	37
642	長野市	安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」	9月26日	コミュニティ広場あもはぐ初開催	38

目 次

No	市町村	食堂名など	開催日	タイトル	頁No.
646	小諸市	信州子ども食堂inこもろ	9月26日	ともに食事できる日を願う弁当	39
651	長野市	安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」	10月10日	第2・第4土曜は“あもはぐ”	40
652	長野市	ながとよマルシェ	10月11日	被災地を応援ながとよマルシェ	41
653	長野市	信州子ども食堂	10月17日	半年ぶり室内で和気あいあい	42
656	長野市	信州子ども食堂古里カフェ	10月3日・18日	秋の楽しみ芋ほりとハロウィン	43
657	山ノ内町	やまのうち みんなの食堂	10月17日	交流が楽しい みんなの食堂	44
658	中野市	なかの子ども食堂	10月24日	常連の方を大事に。細く長く	45
660	飯綱町	飯綱町 てんぐカフェ	9月26日	中秋のお彼岸に手作りおはぎ	46
661	木島平村	木島平子どもカフェ	10月24日	高校生の協力で楽しい居場所	47
663	長野市	安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」	10月24日	定番コーナーも多彩で大好評	48
664	小諸市	信州子ども食堂inこもろ	10月24日	ラインで予約しお弁当を配布	49
669	長野市	安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」	11月14日	提供品たくさん感謝いっぱい	50
670	長野市	信州子ども食堂	11月14日	気持ちを元気にイベント大盛況	51
671	長野市	「いい育児の日」長野合庁フードドライブ	11月19日	コロナ禍に勝つ！子どもたちに夢を・・・	52
672	長野市	信州子ども食堂	11月21日	ここにある いつもの食堂	53
675	長野市	安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」	11月28日	必要な方へ届け あもはぐの輪	54
678	小諸市	信州子ども食堂inこもろ	11月28日	少数スタッフできれいなお弁当	55
680	長野市	信州子ども食堂古里カフェ	11月29日	豪華なお弁当にリースづくり！	56
682	長野市	安茂里公民館	12月11日	Xmasプレゼント袋詰め	57
685	長野市	信州子ども食堂	12月19日	手づくりカードでクリスマス🎄	58
683	長野市	信州子ども食堂 inあもり	12月12日	すき焼き弁当で子育て世帯支援	59
					60
691	県内	もったいないありがとう 笑顔でつながりレー	1月13日	もったいないありがとう応援レー	61
					62
					63
692	長野市	信州子ども食堂in若里	1月11日	冷凍コンテナで生鮮食品を提供	64
694	長野市	こどもと誰でも食堂	1月25日	イチゴを添えてお弁当を提供	65
699	長野市	信州子ども食堂	1月16日	第3土曜日は信州子ども食堂	66
701	長野市	信州子ども食堂in若里フードパントリー	1月28日	長野の留学生に食材など配布	67
706	上田市	こどもレストランきらっと	1月10日・2月6日	感染対策徹底し上田できらっと	68
707	長野市	信州子ども食堂	2月13日	広がれ思いやりと支えあいの絆	69
708	上田市	フードドライブ	2月14日	上田で6千点超フードドライブ	70
709	長野市	信州子ども食堂	2月20日	皆で作る上げる笑顔の食堂	71
713	長野市	信州子ども食堂in若里フードパントリー	2月24日	つながり大事にサポートを継続	72
714	中野市	なかの子ども食堂	2月7日	0円スーパー式で食材を提供	73
718	小諸市	信州子ども食堂inこもろ	2月20日	ライン予約でお弁当配布	74
673	長野県	NPOホットライン信州 祝受賞 内閣府大臣表彰を受賞！	11月27日	内閣府大臣賞みんなの力！	75
					76

新型コロナウイルスに負けないぞ！ おもしろいと支え合いの絆

信州子ども食堂ネットワーク

子どもと家族を支えよう！
新型コロナウイルス対策活動！～信州子ども食堂

長野市と松本市より学校給食の食材

4月13日(月)、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、県内の学校が臨時休業となり、学校給食の食材のご寄贈を受けました。信州子ども食堂ネットワークでの活用と、必要としている子育て中の家庭に配りました。



長野市教育委員会保健給食課から、人参 342 ㎏、玉ねぎ 530 ㎏、大根 84 ㎏、かぶ 54 ㎏、長ネギ、えのきだけ、しょうがなど 1083 ㎏をいただきました。

ABN長野朝日放送 4月14日放映



松本市環境部環境課の阿部航大さんから、玉ねぎ 60 ㎏、キャベツ 30 ㎏、じゃがいも 30 ㎏、人参 20 ㎏、大根、セロリなど 160 ㎏をいただきました。



活動を説明する町田千恵子さん



3密防止を徹底し支援物資を配布

4月18日(土)の長野市での「信州子ども食堂」は、お弁当配布の予定でしたが、「新型コロナの緊急事態宣言が全都道府県に発令！」を受けて急きょふれあい福祉センター入口にて、3密防止を徹底したうえで支援物資の配布を行いました👩🏻。冷たい雨ふりの中、子ども30名大人52名に食材が配られました👨🏻👩🏻👧🏻。

スタッフの皆さんは、緊急事態宣言発令の初めての取組に不安の中、子ども食堂にずっと参加してくださっているママさんや子どもたち。ほんとに頼りになるスタッフとして活躍してくださいました😊😓😓。

支援物資も、学校給食として子どもたちに提供されるはずだった食材(野菜1.1t、冷凍冷蔵食品2t)をたくさんご寄贈いただき、受け取ったお母さん方は、「学校が臨時休校になり食費が通常より3万円も多くかかっているのでも助かる」等と多くの感謝のお言葉をいただき、大好評のうちに完売しました😊😍😊。

今回の寄贈品は、すぐに食べれるハンバーグ・オムレツ・クレープなど38,000個、味噌汁やスープなどが多くて、3食作らなくちゃいけないお母さん達の負担軽減に繋がったと思



います。みんなに喜んでいただけてとても良かったです👍👩🏻^_^

早くコロナが落ち着いて、通常の子ども食堂が実施できるといいのに…と願うスタッフ一同です🙏。



信濃毎日新聞 2020年(令和2年)4月19日 日曜日

信州子ども食堂 中止で余った食材を提供

長野市ふれあい福祉センターで月1回開く「信州子ども食堂」は、新型コロナの影響でこの日に予定した子ども食堂を中止したことに伴い、余った食材の配布会を同センターで開いた。

配布した食材は、臨時休校のために市内の学校給食センターから寄せられたオムレツやハンバーグなどの冷凍のおかずやデザート、企業から寄付されたいなり揚げ、乾物など約80食分。受け取りに来た住民らは「自宅での食事回数が増えたので助かる」と笑顔だった。

信州子ども食堂は3月も感染予防のため中止。調理担当の町田千恵子さん(52)＝千曲市＝は「子ども食堂は食事を提供するだけでなく、悩みを打ち明けたり触れ合ったりできる

大切な場。早く再開したい気持ちでいっぱい」と話していた。



使わなくなった食材を提供した信州子ども食堂の配布会＝長野市鶴賀緑町

冷たい雨ふりの中👨🏻👩🏻👧🏻。学校が休校になり学校給食で余った食材を家庭の子どもたちに配りました😊😓(当法人撮影↑)

新型コロナから子どもたちと家族を守る！

「松代にこここ食堂」と「かふえ天香」が子どもの居場所

北信と南信の子ども食堂で、子どもとのつながり👪👋に奮闘する内容が、4月19日(日)の信濃毎日新聞朝刊に掲載されましたので、紹介します👤

第三種郵便物認可 2020年(令和2年)4月19日 日曜日 信濃毎日新聞

北信

南信

新型コロナウイルス感染拡大を受け、密閉、密集、密接の「三つの密」への懸念から活動継続が難しくなった長野市内の子ども食堂の主催者が、運営を工夫している。外出自粛に伴い自宅で食事する家庭が増える中、18日は余った食材を配ったり、食事を持ち帰ってもらったりした。

カレー「テイクアウト」で提供



持ち帰り用に包んだカレーを訪れた人たちに提供した「松代にこここ食堂」(長野市松代町松代)

松代にこここ食堂

長野市松代町の松代まち歩きセンター(仮称)では、子ども1人暮らしのお客向けの「松代にこここ食堂」が開かれ、持ち帰り用のカレー約50食が振る舞われた。普段の子ども食堂は、佐藤幸美さん(67)「長野市松代町」や友人らが運営。一緒に食卓を囲んだり、もちつきをしたりしている。新型コロナウイルスの影響で今回は中止を検討したが、学校の臨時休校で家庭で食事を用意するのが大変と聞き、持ち帰りという形で続けることにした。カレーは白と辛口の2種類。佐藤さん宅の畑で育てた野菜も使った。佐藤さんは訪れた親子連れに「おいしいですよ」と声を掛け、容器に詰めたカレーを渡した。1歳から小学2年までの3人を育てる地元の中仁美さん35は「少しでも手間が省けるので、助かります」と喜んでた。

長野の子ども食堂、知恵絞る



子ども食堂の利用者とテレビ電話しながらの市内の飲食店かふえ天香の子ども食堂は、新型コロナウイルスの影響でいったん休止したものの、「今こそ子どもの居場所が必要」と再開。感染防止のため、今月から弁当の提供に変更したが、利用者には孤立しがちな人もいて、今回の方式を思いついた。「つながった」。16日午後8時ごろ、かふえ天香に備

画面越し心結ぶ子ども食堂 茅野 弁当とテレビ電話で孤立防ぐ

新型コロナウイルス感染拡大で県内の子も食堂が相次ぎ休止する中、茅野市のNPO法人「信州協働会議」が、テレビ電話アプリを使って会話しながら食堂利用者と食事をする取り組みを始めた。食卓を囲まず弁当を安く提供する方法に切り替えたが「孤立を防げない」と考え、テレビ電話アプリを導入した。市内の飲食店かふえ天香の子ども食堂は、新型コロナウイルスの影響でいったん休止したものの、「今こそ子どもの居場所が必要」と再開。感染防止のため、今月から弁当の提供に変更したが、利用者には孤立しがちな人もいて、今回の方式を思いついた。「つながった」。16日午後8時ごろ、かふえ天香に備



コロナに負けないぞ！

えたタブレット端末に、親子が映し出された。この日は市内の子もやその家族、大学生ら約10人が参加。肉じゃがやアロココリを味わった。NPO法人理事長の八幡野さんは「孤立を防ぐのが子ども食堂の役割」と話す。食事後、画面の向こう側で踊るなどしていた小学6年の男児(11)は「楽しい」。母親(47)は「さまままなど交流できる大切な居場所。テレビ電話は心のよりどころになる」と話していた。

「いいやま子ども食堂」でお弁当を配布

4月11日(土)、飯山市の「いいやま子ども食堂」は、ピアノの音色でお弁当を取りに来る子ども34人を含め64人を癒してくれました。入り口では消毒をしてもらいます。飯山ではコロナが出たら即閉館すると公民館で伝えられました。当然と言えば当然ですが仕方ないですね。



毎回新しい参加者が来てくれてありがたいです。けれど開催出来なくなると困る人達が出ます。



今日のメニュー
 ・麦ごはん、たけのこマヨ
 ・野菜とキノコの焼そば
 ・肉だんご酢豚あんかけ
 ・ゆで玉子
 ・春ブロッコリー

「こんな時だから子ども食堂の期待は大です」。次回は「4月25日キノコ弁当でコロナに勝つ！」です👨🍳





新型コロナウイルスに 負けずに がんばろう！

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ

4月25日と5月23日(各土)小諸市の「信州子ども食堂 in こもろ」で 新型コロナウイルス禍の緊急措置による外出自粛要請という制約の下、お弁当のテイク・アウト配布を併せて、70食分を無事完売。今回は、又、小諸市の相生町商店街の老舗であるレストラン HARDA 様や浪江焼きそばは、地元の飲食店「ちゃんちき」さんをお願いし、ポテトサラダ、びっくり宝袋、デザート



小諸・相生会館 1階での当日受け渡し風景

更に、NPO ホットライン信州様から寄贈されたお菓子(果汁グミ、プッカ・チョコ、アポロ・チョコ、ハイレモン)とアイス・キャンディーや液体みそ各種を袋に詰めて、全予約者に子ども食堂のパンフレットと共に、持ち帰って戴きました。

日夜、自らの命を懸けて献身的に新型コロナ・ウィルスと闘っている医療従事者、看護師、介護士、妊娠・出産を控えている方々、介護施設や物流・宅配業務に携わっておられる関係者・ご家族さま、或いは、いわれなき偏見と差別に、DVや家庭で居場所のない方々など、是非、当会のサービスをご利用下さい。共に食べる楽しさ、家に帰ってからの会話等で何か心に残るものがあつたらこの「子ども食堂」はそれなりに意義があつたかと思ひます。引き続きご支援の程御願ひ申し上げます。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

感染予防しつかり 小諸 飲食店調理の弁当提供

小諸市の有志らでつくる実行委員会が月1回開く「こども食堂」が25日、同市相生町で開かれた。参加者が一緒に料理する取り組みだが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、3月から弁当のテイクアウト方式に変更。さらに3月までは実行委員が調理していたが、委員が会場の台所に密集するのを避けるため、この日は地元飲食店に調理を頼んだ。



店内で調理したチキンライスを実行委に手渡す原田さん(左から2人目)

小諸、佐久市や立科町の12家族が弁当を予約。相生町の飲食店「HARDA」が、実行委員会を含む計70食分のチキンライスなどを作り、会場に運んだ。夫婦共働きで子育て中の立科町の40代女性は「休校中は平日に子どもの昼食を用意するのが大変。週末だけでも栄養のあるお弁当を買える」と喜ぶ。店主の原田良太郎さん(49)は「食でお手伝いできることがあれば、できる限り協力したい」と話した。

実行委は個人や団体の寄付金や食材提供で運営。今回は大人200円、子ども無料で弁当を提供した。実行委の千野久雄会長は「協力店舗を募り、開催する回数を増やせばいい。もっと寄付金を集め、コロナの影響を受けている飲食店に利益が出る仕組みをつくりたい」と話した。

信濃毎日新聞社 四月二十六日



スタッフによる準備中

今回のチキン・ライス弁当(フルーツ・デザート・ヨーグルトかけ付き)には、地産地消の理念の下、小諸産の少し細長い3色人参や胡桃入りの和風ドレッシング・サラダとスクランブル・エッグも加えました。



距離を置いて受け渡し

コロナに負けないぞ！

台風被災地で物資を配布

信州子ども食堂ネットワーク



5月9日（土）、長野市赤沼 5511-14 で「信州子ども食堂」を開催しました。子ども 28人を含む 52 名が参加。

アイスクャンデーやお菓子・牛乳など多くの支援物資を配布しました。また、台風被災者炊き出し支援をしている星野さんご夫婦がキッチンカーで駆けつけてくれ、焼きそばやフランクフルトなどを美味しくいただきました。



様子が NBS 長野放送で放映されました。写真をお借りして掲載します。
<https://www.nbs-tv.co.jp/news/2020/05/post-2680.php>



当日は、翠翔会さんのポップコーンづくりから、信州子ども食堂スタッフや古里カフェ、アイキャンの皆さんが支援物資を配布。また早朝から、長野牛乳さんからの「牛乳」や中野市のダイマツさんからの「山菜・惣菜・漬物」と、清泉学院さん「食材」などの物資、約 5,000 点 1.2 t を配布しました。

残りは、豊野地区「支援物資無料コーナー」で配布しました。



中野市のダイマツさんから



清泉学院さん「食材」のご寄贈



次回 6月13日（土）は 長野市赤沼 5511-14（GoGoいい・一よ）でお待ちしています。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

休校中の子どもたちと家族のために！ 台風19号被災地 支援活動

信 濃 毎 日 新 聞 2020年(令和2年)5月10日



キッチンカーには、アイスクャンディーなどがたくさん保管されていました。

苦境 食料で支援

休校中の子どももや被災者対象 長野で提供

無料で振る舞われた焼きそばを受け取る子どもたち



撮影：NPOホットライン信州

松本の団体

信州子ども食堂ネットワーク事務局・松本市は9日、新型コロナウイルスの影響で休校中の子どもたちや昨年10月の台風19号災害の被災者らを支援しようと、長野市赤沼で食料を無料配布した。会場となった空き地には同市の内外から親子連れら約50人が訪

NBS長野放送 2020年5月9日放映



被災地で菓子や食品を配布する子どもがいる家庭を支援



被災地で菓子や食品を配布する子どもがいる家庭を支援

この場所で定期的に行っていたらと思う



「信州子ども食堂ネットワーク」が台風19号と新型コロナの影響を受けた家庭を支援



青木正照さん

みんなで一緒に遊んだりできるのが一番いいんですけど

れ、菓子や漬物といった食料を持ち帰った。

- ◆ 感染拡大を防ぐため、会場者はマスクを着用し、検温も実施。菓子などを袋に詰める作業は、訪れた子どもたちが率先して手伝った。出来たの焼きそばやポテトを振る舞う屋台も設置され、子どもたちの人気を集めていた。

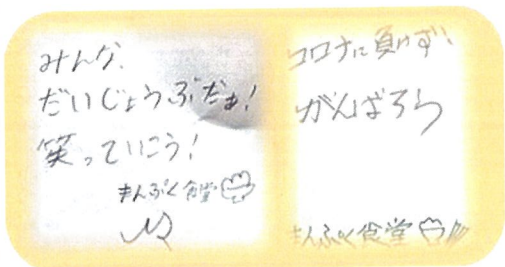
訪れた同市川中島町の主婦谷坂絵梨さん(37)は「新型コロナウイルスの影響でどこにも行けないような状況の中、気分転換になった」。長女の歩実さん(9)は、主催スタッフの子とも以前からの知り合いだといいい、この日はおしゃべりなどを楽しんで「久しぶりに友達と会えてうれしい」と喜んでいました。



コロナに負けるな！ 食材お届け作戦

長野市 まんぷく食堂

新型コロナ感染拡大により、まんぷく食堂も2月から開催中止が続いています。「自宅待機が長くなってんだけど、まんぷくのみんなは元気かな?」、「食材とちょこっとお手紙を届けて、元気を出して欲しいな」、「久しぶりにひと目会いたいな...!」そんな思いで、4月9日(木)に続いて、5月16日(土)に2回目の食材お届け作戦を行いました。



対象は主に子育て中のご家庭(子ども約50名を含む35世帯)。食材は、信州子ども食堂ネットワーク・フードバンクから賞味期限が近いあんずジュース、お菓子、ジャム、ゼリー等と、長野牛乳さんから寄贈してもらった紙パック牛乳です。

換気に気をつけ3密を避けながら、スタッフ+高校生・中学生・年中さんの男子3人でお手紙を書いたり、食材を分けたりしました。それから、各ご家庭への配達。朝陽団地の配達には、かわいい女子も加わってくれました。ピンポンして、ちょっとお話したり、「食材助かる!!」って喜んでもらえると、こちらでも元気をもらえます!

お届け先の皆さんからの感想

- ・届けていただきありがとうございます😊。上の娘、小さいサイズの牛乳パックを初めて見たのでいつもよりテンション高く飲んでます。メモも心温まりました!たくさんご馳走様です。
- ・うちも、小さくて可愛い牛乳を見て早速飲んでいました。岡谷に住んでいたことがあり、ヤクルトの販売員さんと会えるのを楽しみにしていた事を思い出しました。まんぷく食堂は私の楽しみです。ご飯食べながらまた、お話しできるのを楽しみに待ちたいです。
- ・沢山届けて頂きありがとうございます!早速お昼にジャムパンと牛乳頂き、とても美味しく喜んでました!
- ・先程はお届け物ありがとうございます。私もまだメンバーに加えていただけていたなんて嬉しいです。お手間おかけしてしまいました。ありがとうございます(o^-^o)。ご恩返しいつかしたいです。



会えないのは寂しいですが、食材配達を通して元気をやり取りしたり、久しぶりの方に「元気ですか?また来てね♪」とお伝えする機会となったのはありがたいことでした。次回の配達作戦はおやつセット『ポッキー2種&カントリーマーム』です!

1日も早くコロナが終息し、また皆さんで食事をしながらワイワイと他愛のないおしゃべりや情報交換できる日を楽しみに、今はできることで繋がりを保っていきたいです。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください



駐車場で 支援物資を配布

長野市 信州子ども食堂

5月16日(土)、長野市での「信州子ども食堂」は、ふれあい福祉センターの駐車所で、3密回避を徹底したうえで支援物資の配布を行いました👏。

子ども28名を含む70名と各子ども食堂の関係者に食材など約5,000点を配りました👨👩👧👦。調理責任者の町田千恵子さんは、手作りの「おこわお弁当」を提供🍱。お手伝いしてくれた親子は「大きめの具とモチモチのお米がとても美味しかった😋」、飯山からの柳さんらは「コロナで疲れ切った心がとても癒された…」と大好評👍👏「早くコロナが落ち着いて、美味しい料理が食べたいと…」と、子どもたちの声でした。



「信州子ども食堂」は、どんな形でも必ず開催します (調理責任者の町田千恵子さんより)

長野県もやっと緊急事態宣言が解除になりました。毎月第3土曜日にふれあい福祉センターで開いている信州子ども食堂もコロナ感染拡大防止のため、3月の開催から活動縮小しながらも、今まで経験した事のない長期休校中の子ども達と子育て家庭の支えになればと頑張って活動を続けて来ました…が今回は、会場の使用を認めていただけず、とてもとても悲しくて、悔しくて…これまでの私たちの活動さえ無意味とされているような気持ちになりました。確かに、組織として何かあったら困るかもしれませんが、しかし社協さんは

弱い方々の力になってくださる所だと思うのです。逆に、安全に開催できるように力を貸してくださるのが本来の姿ではないかと、強い憤りを感じつつも…ここで引き下がるわけにはいきません！子ども達を応援するため、多くの企業様などからお預かりした大切な物資も無駄にするわけにはいかない！交渉に交渉を重ねて駐車場の一部を使用してドライブスルー方式での開催を認めていただきました！特に周知はせず、お見えになられた方々に食材などをお渡しするという形でしたが、たくさんの方が見えられ、

「助かります」と笑顔で言葉を交わし帰って行かれました。

来月は、まだどうなるかわかりませんが、どんな形でも必ず開催します。

みんな～待っててね❤️コロナめ！ええかげんにせえよ！



3密を避け、整理券を手に並び参加者

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業



コロナに負けないぞ!

長野牛乳様のご寄贈に笑顔

長野牛乳株式会社

4月23日(木)、長野牛乳株式会社様から白桃ジャム20キ、白桃ドライフルーツ900個4キ、ぬいぐるみ60個、牛乳2,600個(5/23現在)550キをご寄贈いただきました。

さっそく新型コロナの影響をうけている子どもたちやご家族の方、台風19号長野市被災地と「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただき、多くのおみなさまに大変喜ばれています。



長野牛乳社長さんから食材などの数々を何十回も受け取る塚田さん



県内各地で大喜び



長野放送で放映



長野市 まんぷく食堂、信州子ども食堂、台風19号被災地食材・支援物資配布



松本合同庁舎 お弁当と食材・支援物資配布



塩尻市 子ども食堂あじさいにてドライフルーツを持ち帰る



松本市 学び塾で牛乳を手にする子どもたち

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業



コロナに負けないぞ!

ドライブインシアター開催

長野市 赤沼地区大田神社

5月17日(日)、台風19号被災と新型コロナの影響でストレスを抱えている子どもたちと家族を元気づけようと、翠翔会と炊き出し救援チーム、災害支援 team.H の若者たち有志が初めてドライブインシアターを開きました。会場の赤沼地区大田神社には、子ども14人を含む24人が、大型スクリーンに映されたアニメに目を輝かせて、歓声を上げ感動していました。

長野市民新聞

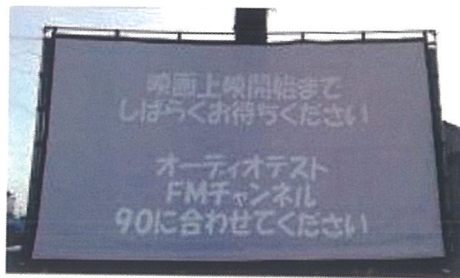
2020年(令和2年)5月21日

神社でアニメ上映

各種支援団体が企画運営

「ドライブイン形式」

赤沼の親子観賞



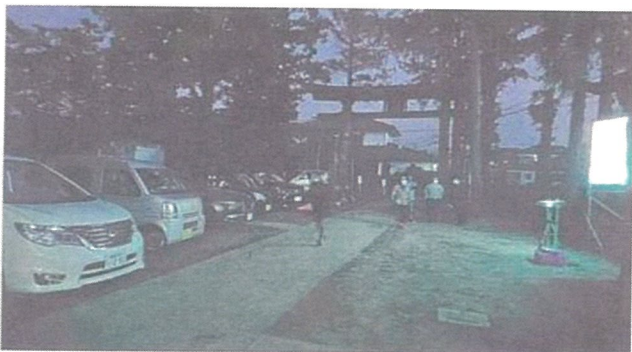
翠翔会の谷政実さんのコメント

令和台風第19号の被害を受け、まだ復旧もなかなか進まない地域に復興の夢と希望、そして大きな光を皆で創っていく、それがこの被災地で開くドライブインシアターの役目です。

被災地を盛り上げるために声をあげてくれた長沼自治会長の西澤さん、大田神社宮司の太田さん、そして地元の育成会のみなさんと協力し合い、初めて開きました。

車から見る映像とラジオから流れる音声で、大人も子どももとても楽しい時間を過ごせたと喜びの声が上がっていました。

アニメ映画を観賞するため神社境内に並んだ車



赤沼の大田神社で17日、車に乗ったまま映画を観賞する「ドライブインシアター」があった。台風19号で被災した上、新型コロナウィルス対応の休校でストレスを抱える子供たちを元気づけたいと、市内外3団体でつくる「ドライブインシアター事務局」が無料で開催。境内に設置した120型の大型スクリーンで人気アニメ映画を上映した。

地元の親子連れ約20「翠翔会」小鍋さんと人が自家用車6台で集。NPO法人「ホットラまり、午後7時から映画「イン信州」松本市に呼び掛けて結成。ドライブインシアターは声はカーステレオのFM感度リスクが少ないとMラジオで受信した。として、長沼地区の8育上映後には拍手が湧き成会をつくる「育成会上がり、子供たちから連絡協議会」に開催を提案した。翠翔会が機材を、ホットライン信州は菓子を提供した。

同事務局は、被災地を支援する市民中心の8月20日には同神社で2回目の観賞会を予定している他、他の場

所でも検討中。子供たちに地域の復興状況を伝える映像を作って流す計画もある。

育連協の田中直義会長(56)「赤沼は復興事業に子供が参加する機会が少ないのでありがたい。地域の未来を担っていく子供たちが、映画の感動を胸に、夢や希望を持って歩んでいけるといい」と話している。

段ボールいっぱい、お菓子のお土産を 抱えて 喜び子どもたち。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

毎月第2土曜日 GoGoいいよ

長野市赤沼 551-14 (GoGoいい・一よ)



6月13日(土)、台風19号被災地の長野市赤沼551-14 (GoGoいい・一よ) にて大雨降雨中、「信州子ども食堂」を開催しました🍴。

キッチンカーで焼きそばと稲荷ずし。綿あめ、りんご飴、クッキー、お菓子などを手に子どもたちは大喜び！お母さんらは味噌、牛乳、缶詰、ラーメンなどをたくさんいただき、「とても助かります…」と感謝。

子ども42名を含む86名がたくさんの食材などを持ち帰りました。



NHK NEWS WEB

台風とコロナで困窮の世帯に食事

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/nagano/20200613/1010013789.html>



台風19号から8か月を迎える中、正午には集まった人たちが黙とうを捧げていました

2回目となった13日は、できたての焼きそばやから揚げ、それに綿あめなどが振る舞われ、雨のなか、親子連れが傘をさして列をつくっていました。

2人の子どもを連れた20代の母親は、「新型コロナウイルスの影響でイベントの中止が続いていたので、子どもたちの楽しむ姿を見られてよかったです」と話していました。信州子ども食堂ネットワークの青木正照事務局長は「台風被害に続いて今度は新型コロナウイルスと、この地域の人たちにとっては大変な状況なので少しでも手助けをしたいと思います」と話していました。

今後は、毎月第2土曜日に開かれることになっています。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業
無料相談・問い合わせ ☎ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

台風被災と新型コロナの影響で困っている家庭を支援しよう

長野市赤沼 551-14 (GoGoいい・一よ) の「信州子ども食堂」の様子が、13日のSBCテレビで放映(写真)されていました。

また、翌14日(日)の信濃毎日新聞に掲載されていたので、一部を紹介します。

できたての焼きそばやから揚げ、綿あめなどが振る舞われ、雨のなか、子どもや親子連れが傘をさしながら次々と大袋のお土産を持ち帰りました。

台風19号と新型コロナのW災害に見舞われながらも避難先のアパートで暮らしている石原君(長野小学5年)は、「綿あめやりんご飴・焼きそばはとても美味しかった。早くみんなと一緒に楽しく食べて、遊びたい」と話してくれました。



6月27日(土)18:30 ドライブインシアターに(映画)「信州子ども食堂」開設します。いなり弁当60食、おこわ弁当60食、お菓子セット120袋、ペット茶120本を準備しおまちしております。



各企業からたくさんのご寄贈品をいただき、子どもたちは袋いっぱい持ち帰りました

長野牛乳さん、八十二銀行さんのクッキー、江崎グリコさんのお菓子、フードバンク山梨さんのおかゆ、マルコメさんの味噌、ダノンジャパンさんのミルクなどのご寄贈品です。

6月14日(日) 信濃毎日新聞



子ども食堂で綿あめを食べる子どもたち。傍らで検温も=13日午前11時59分、長野市赤沼

被災地応援 県内外から

一方、同市赤沼では、信州子ども食堂ネットワーク(松本市)が台風19号と新型コロナウイルスの「ダブル災害」に遭った被災者をより立てたいとお菓子や焼きそば、いなり寿司弁当などを無料提供。カウンセリソングや生活再建の相談コーナーもあった。避難先のアパートで暮らしている長野小5年の石原柊太君(10)は、リンゴあめやジュースを手にも「早く普通の生活に戻りたい」と話していた。

長野・長沼地区 食料配布会

会議室で物資 6,000点を配布

長野市 信州子ども食堂



6月20日(土)、長野市での「信州子ども食堂」は、「新型コロナの緊急事態宣言」の解除を受け、ふれあい福祉センター内の会議室のみの利用ができました。3密を徹底したうえでの支援物資の配布を行いました👏。

子ども31名を含む65名と、各子ども食堂の関係者に食材など約6,000点が配られました👨👩👧👦。



今回の信州子ども食堂も多くの企業様、団体様、個人の支援者の方々、多くの皆様のおかげで、たくさんの物資を参加者の親子さんにお配りすることができました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました😊

来月7月18日の開催からは、やっと食事を作り、その場で食事をしていただくスタイルに戻る事ができそうです♥

ただ…まだまだ感染予防は必要です。参加者の皆さまと協力して、ソーシャルディスタンスの確保、体調管理、換気には十分な配慮の上での開催となります。

ご協力をよろしくお願いいたします😊



次回の信州子ども食堂は、7月18日(土)、長野市のふれあい福祉センターで開催します。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.iimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

車に乗って 映画を満喫



長野市 信州子ども食堂



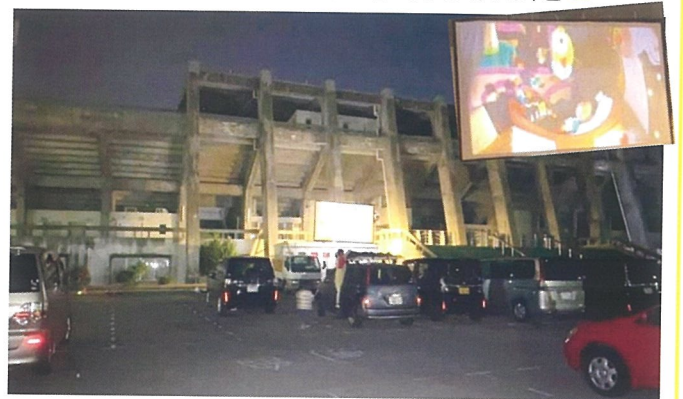
6月27日(土)、長野市の長野運動公園で「信州子ども食堂」によるドライブインシアター(映画)には、車に乗った親子づれ子ども35名を含む約70名が参加しました。

18時30分には会場の入り口に、ハンバーグいなり弁当、おこわ弁当60食、お菓子セット120袋、ペット茶120本を準備。完了と同時に次々と車が入ってきました。

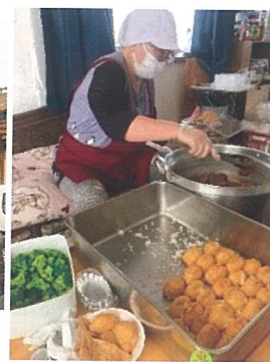


子どもたちは受付で検温して、おこわ弁当かハンバーグいなり弁当かに迷って「両方とも食べたい!」と張り切っていました。

暗くなり映画が始まるまで子どもたちは、鬼ごっこなどをして楽しく遊んでいました。



映画が始まると子どもたちは、車中から観る大迫力の映画「怪盗グルーのミニオン大脱走」にくぎ付け…親子で楽しい時間を満喫していました。



初めての野外、車中の映画鑑賞に親子は「テンション上がるわ」と大喜びの連発。食材とお菓子の配布にお母さんは、「こんなにいただいて、とても助かります」と、感謝の言葉をたくさんいただきました。

孫と一緒に来たおじいちゃんは、「台風19号の被害とコロナの影響で大変な思いをしているが…、今日は気持ちがあらいだ」と、被害に遭われた当時のお話をされ、「これからも続けてください」と言っていました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

予約がいっぱい テイクアウト

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ



6月27日(土)、小諸市相生町「相生会館」で51回目の「信州子ども食堂 in こもろ」を開催しました。メニューは、牛肉ちらしずし、きゅうりと大根の梅おかかあえ、いんげんの胡麻和え、ヨーグルトゼリーです。

コロナウイルスの感染防止で3密をできるだけ避けるため、スタッフの数を8名に減らし、ゴボウなどの野菜は前日に刻みました。



11時40分の10分遅れで、事前予約をしたこども50人と大人34人、合計84人分を配布しました。いただいていたお菓子と野菜の袋詰めも各世帯分を配布しましたが、12時には終了しました。あっという間で感想を聞くこともできませんでした。

今回も事前にラインでチラシを配信したところ、1時間で定員50名の予約が入り、急遽スタッフと相談して70名に変更、最終的に84名となりました。

テイクアウトだと滞在時間もなく、予約がしやすいのではないかと思います。



コロナ終息までにかかなりの時間がかかると思われるので、新たな子ども食堂のあり方の試行錯誤を繰り返す必要があると思います。当面はお弁当のテイクアウト方式かと思いますが、食事とともにできないため、こども達との交流もできず、また料理の感想も聞けないことで、何か物足りなさを感じます。一日でも早く従来の食事会が開催できればと思います。



ホットライン信州さんからコラーゲンバナニラクッキー、サンジェルマンラスクほかお菓子、ミネラルウォーター48本、立科の宮下さんから玉ねぎ、きゅうり、ズッキーニ、大根、キャベツ、佐久の荻原さんからきゅうりのご協力をいただきました。今後も「食を通じた世代交流で市民同士が支え・助けあうふれ合いの循環社会のまちづくり」を目指し続けていきたいと思っています。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

被災地小学校へ お菓子を寄贈

長野市 長沼小学校と豊野西小学校



7月10日(金)、台風被災地の長沼小学校と豊野西小学校の生徒さんへお菓子を寄贈しました。

お菓子は、(株)八十二銀行様からコーラゲンバナラクッキーと、江崎グリコ(株)さんから信州りんご味付けのどちらも美味しいお菓子を1,400個お渡ししました。

台風19号の被害を受け、まだ復旧もなかなか進まない中、さらに新型コロナウイルスの影響を受けている子どもたちに「少しでも元気になって欲しい!」との思いから、NPO ホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)では、両校の生徒さんにお菓子を持ち帰っていただき、ご家族みんなで召し上がっていただければとの願いです。



長沼小学校の生徒会長(上の写真右)は、「一週間前にやっと自分の家に帰って、ほっとした。この美味しいお菓子をいただいてとても嬉しい」と応えてくれました。

子どもと家族を支えよう!
支え~助けあい~ 心と心がかよう 信州子ども食堂



豊野西小学校の校長先生は「やっと子どもたちも海に日帰りで行けるようになった、このお菓子を食べて元気になれば良い・・・」と感謝のお言葉をいただきました。



信州子ども食堂 ONE NAGANO 復興へ! がんばろう長野
心と心をつなぐ 長野県台風19号災害復旧・復興 応援リレー

お菓子は、ご家族で食べていただくよう、家庭に持ち帰っていただきました。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

雨にも負けず GoGo いーいよ

長野市 信州子ども食堂



7月11日(土)、水害とコロナのW災害を受けた長野市赤沼 551-14 (GoGo いーいよ) で雨の中、「信州子ども食堂」を開催し、子ども64名を含む計115名が参加しました🍎🍌

もんもカフェのキッチンカーでの山賊焼き・かき氷🍧、古里カフェのカレーライス🍛、翠翔会の綿あめ・ポップコーン🍿・りんご飴🍬などに長蛇の列ができました😊❤️👍



食材や衣料・生活支援物資をもらう皆さん



長野西高校生が支援物資の袋詰



かき氷とジュースをもらう子どもたち



美味しいカレーライス🍛をいただく親子



安全に会場警備をする子ども代表指導員のタオ君の交通誘導・・・。

メンタルケアに生活設計相談コーナーも開設されました
❤️🍌🍌🍌母親がメンタルケアと今後の生活設計の相談を受けている間に、子どもたちは😊りんご飴や綿あめを食べていました。



無料物資コーナーでは、マルコメさんのスープやクッキーのお菓子🍪🍬🍫・玉子🍳・衣料などなど約6,000点(1.5t)を配布し、お母さんや子どもたちは大喜びでした😊🌟

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください



久しぶりに開催 大盛況で新記録

木島平村 木島平子どもカフェ

7月11日(土)、コロナ禍により3月・5月と開催を断念していた『木島平子どもカフェ』を久しぶりに再開・開催しました。

コロナの影響もあり、参加者が少ないのでは…との心配をよそに、なんと総勢150人強の参加者。記録を更新し、こども108人、大人24人、農林高校より13人、スタッフ17人の合計152人でした。

バスの中で検温し、消毒も各所に用意。こども達は、暑さももろともせず、思い切り遊んでいました。

かき氷の振る舞いも大盛況で、用意していた分全てが早々に終わりました。



通常は、主食のほかに副菜やデザートを何種類も作っていますが、今回は調理室での密を避けるため、メニューはカレーのみに絞り、また、カレーとかき氷の器は、使い捨て容器を使用しました。



今回は昨年同様、暑い昼間を避けての「夕涼みカフェ」ということで、お昼を食べた後に集合。早めの夕飯を食べて解散という流れでしたが、10升炊いたお米も、おかわりの嵐で早々に完食…。ホットライン信州様よりいただいたお菓子を食後に配布し、持ち帰ってもらいました。



『木島平子どもカフェ』は、およそ2ヶ月に1回のペースで開催していますが、9月は村の秋祭りが毎週末続くため、次回の開催予定日は、10月24日(土)10:00~14:00、場所は木島平村農村交流館になります。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

初の桜スクエアで 信州こども食堂

長野市 信州こども食堂



7月18日(土)、長野市での「信州こども食堂」は、新型コロナの3密回避を徹底したうえで、初めての長野市役所前桜スクエアで開きました。

参加は、元気な子ども 56名を含む115名が楽しみました👨👩👧👦。



食事は、時節柄、手作りのお弁当は心配でしたので、いつもこども食堂をご支援してくださっているベーカリーカフェココさんとおやきのいろは堂さんに発注をさせていただきました。直前のオーダーにも関わらず 快く お引き受けいただいた上

に、こども食堂価格でご対応いただきました。本当にありがとうございました😊

カレーは、いつもお肉をご寄贈くださっている中日本フードさんが、新型コロナウィルスの影響で開催できずにいる「こども食堂」を気にかけてくださり、物資の提供にも使えるようにとご用意くださいました。スタッフと学生ボランティアさんも一緒に美味しくいただきました。

たくさんの学生ボランティアさんが、設営の手伝から、子どもたちと一緒に広い芝生で遊んでもらい大喜び❤️でした。



もんもカフェのキッチンカーでの山賊焼き・かき氷🍧、翠翔会の綿あめ・ポップコーン🍿・りんご飴🍎、ジビエ焼肉などに長蛇の列ができました❤️

<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ [フリーダイヤル 0120-914-994](http://0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

広い芝生で食べて遊んで大はしゃぎ



時折り雨が降りましたが、太陽ものぞき、まあまあのお天気に恵まれ楽しい一日を過ごすことができました。

ことみちゃんの「にじいろパワー」とメンタルケアに生活相談コーナーには、大人から子どもまで相談に来ました。ことみちゃんに「にじいろパワー」をもらった子どもは🌈、さらに元気になりカレーライスも食べてしまいました😊。



芝生で、みんなで
🍛カレーライス

食事の後は、広い芝生
で大はしゃぎ



2020年7月20日(月) 信濃毎日新聞



長野の屋外で 食べて遊んで

NPOが子ども食堂

県内の子ども食堂連携組織の事務局を担うNPO法人ホットライン信州(松本市)は18日、長野市役所前の桜スクエアで子ども食堂を開いた。写真。新型コロナウイルスの

影響で外出機会が減った子に元気に遊んでもらおうと、屋外で初開催。芝生ではしゃぐ子どもたちの笑い声が響いた。

同市で毎月開く子ども食堂は、感染予防のため、食料などの物資配布に限るなどの措置を取っている。今回は距離を保てるよう会場を屋外に設定。松本地方の名物「山賊焼き」やカレー、綿あめなどが無料で提供され、子どもたちは芝生に座って頬張っていた。

子どもたちは、初めて会った同士でもすぐに打ち解けた様子。食事した後、マスク姿で鬼ごっこなどをして走り回った。同市の小学4年の塚田百香さん(9)は「友達と会って遊ぶのはやっぱり楽しい」と話していた。



新会場で再開 てんぐカフェ

飯綱町 てんぐカフェ

7月11日(土)、コロナ禍で3か月間中断していた子ども食堂「てんぐカフェ」を、飯綱町多世代交流施設『メーラプラザ』に会場を移し、細心の対策を取りながら再開しました。

食事を待つ間の交流タイムは、DVD鑑賞や手品を提供しました。参加者は、子ども21名とおとな25名の46名でした。



メーラプラザは、今年3月にオープンしたばかりの新しい施設です。「密閉」・「密集」・「密接」を考慮して、食事は地域交流室とホールの2か所に分かれることにしました。

【いらっしゃい】

受付で消毒・検温や体調チェックなどを行い、マスクを着用してもらい〈三密〉にならないよう会話は控えるようお願いしました。



【おいしい料理を】

初めて使うキッチンルームは、以前より狭く、少人数のスタッフで忙しく調理しました。メニューは、「炊き込みごはん」「にらと卵のスープ」「肉じゃが」「春雨と野菜のあえもの」「キュウリの浅漬け」「おやき」と「カルピス」です。食事テーブルは消毒、席の間隔を十分とるなどし、ワンプレートに盛り付けて配膳しました。

【いただきます】

食事中は、会話に注意しながら、でも、学校もクラブも同じ友だちと一緒に食べると楽しく、おいしそうに食べていました。



【ごちそうさま・これからも】

「ごちそうさま」をした人からお土産をもらい自由に帰ることにしました。これから、バレーボールの練習がある人もいました。食事がすんだ子どもたちの「おいしかったよ」は、スタッフの励みになりました。「また来るね」と約束して帰っていきました。

ウィズ・コロナ時代の「てんぐカフェ」は、月2回。1回目は小学生以上、2回目は未就学の幼児などを対象として、対策を取りながら開催していきたいと思います。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

待ってました 5か月ぶり開催

中野市 なかの子ども食堂



7月25日(土)、5か月ぶりに開いた「なかの子ども食堂」。コロナで開催を断念していたのはしかたありませんが、久しぶりの開催は、嬉しい反面、重たい腰を上げる感覚があったのもまた事実。加えて衛生面への新たな配慮が加わり、緊張しながらの開催でした。

「密」をおそれて、大々的に広報せず当日を迎えました。それでも楽しみに待っていた人が徐々に28人(子ども5人、大人5人とスタッフ)が集まりました。4連休に重なったこともあり、予定のあったスタッフの中には食べずに帰る人や、食事時間を過ぎて参加する人もいました。



<メニュー>

おいしいカレーライス・サラダ・お茶
くいただきますの>

社協フードバンク:ツナ缶、フードド
ライブ:お菓子3種類、ジュース、お
米(お寺おやつクラブ、江部・前沢さ
ん)、野菜(畑のあるスタッフ)

工夫を重ねて感染予防

開催時間を短縮して、トイレ、とって、てすり、机などの消毒をして臨みました。献立もできる限り簡単単にして、取り回しはなくしたり、箸やスプーンはナプキン



で包んだり、飲み物もペットボトルのお茶にしました。スタッフによる配膳をできる限り行ったところで着席してもらうように呼びかけるなど。何回か会議をして今の段階での万全を期したつもりです。会議をするたびに、新しい感染予防の視点が加わり、大勢の視点のありがたみも感じての開催でした。

ありふれたメニューでも満足の存在意義

参加者は「お昼を一人で食べるとこだったが、チラシを見て楽しみに来ました。カレーは大好きで嬉しいです。」「MさんからJさんに連絡があって、自分はJさんから連絡をもらってきました」と言う高校生は、中学の時のサマーチャレンジボランティア以来のつながり。

シェフとも連絡を取り合っていたらしく、料理のレシピ集を受け取っていました。

顔を合わせることで、何気ない話をする、子育てなどの息抜きをすることを楽しみにしている人達にとって、メニューの工夫よりも開催することそのものが大事なのだと感じました。さて、次回8月22日予定も開催できることを祈るばかりです。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

電話予約で

お持ち帰りも おいでなして

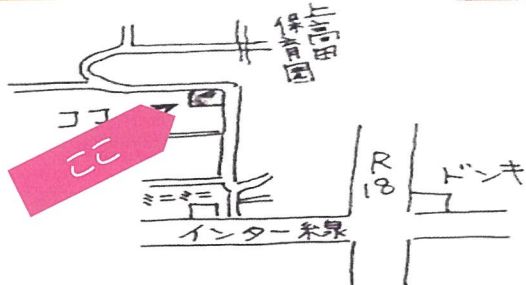
長野市 こどもと誰でも食堂



長野市上高田の「宅老所おいでなして」で月3回ほど開く「こどもと誰でも食堂」5月～7月まで約250食(内子ども150食)を提供。いつもは保育園帰りの家族や近所のお年寄りたちが集まって、にぎやかに食事を楽しんでいましたが、コロナウイルスが世間を騒がすようになってからは、そのまま持ち帰れる「お弁当」スタイルで渡しています。



お持ち帰りいただけるよう容器に入れて提供しています。先に電話でご予約いただければ、すぐにお渡しできるよう用意しておきます。



早くコロナウイルスが収まって、またみんなで楽しく食事ができますように。体調管理を心がけ、うがいと手洗いをしっかりしましょう。

場所は、長野市の上高田保育園から歩いて数分。参加費はひとり300円。

たまには、夕食づくりも片づけも忘れて、ごゆっくりお過ごしください♪

<8月～9月の開催予定>

8月5日(水)、18日(火)、27日(木)
9月3日(木)、14日(月)、25日(金)

17時30分から19時頃の間、お越しください。
お問い合わせや持ち帰り弁当の予約は、お電話で090-5426-3764 高橋まで。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

親子で楽しく てんぐカフェ

飯綱町 てんぐカフェ



梅雨空の下 7月25日(土)の子ども食堂「てんぐカフェ」は、コロナ対応を考え幼児やその親などを対象に定数15組の事前申し込み制で、飯綱町『メーラプラザ』で開催しました。今回は、小学生以上の子どもが対象であったことから、今回の参加親子とは4か月ぶりの再会になりました。

参加者は、子ども20名と父母ら12名、スタッフ(調理・交流)の14名、合計46名でした。



大人気のパルーンアート

ちょっと待ってね

食事が始まるまでは、プレイルームで遊んだりホールでDVDを見たり好きなことをして自由に過ごしてもらいます。スタッフに風船で動物などを作ってもらうパルーンアートは大人気。好きな色の風船で好きな動物を作ってもらう大喜びでした。

おいし〜い

「おいしいね」などと話しをしながら楽しく食べてくれた親子や「いつもよりたくさん食べたよ」という声もありました。小さな女の子は「ごちそうさま」をどうしてもスタッフに言いたくて、母親に抱っこしてもらって配膳口から言っていました。



手づくりだよ

メニューは、炊き込みご飯、手作りシュウマイ、きゅうりの浅漬け、タケノコ汁、みたらし団子、麦茶です。スタッフから自家菜園で収穫した野菜(ズッキーニ、パプリカ、ナス、玉ねぎや冷凍保存のタケノコ)をいただきました。調理スタッフ7人でこのメニューを、50食以上愛をこめて手づくりするのは大変です。特にシュウマイづくりなどに使う大量の玉ねぎには泣かされました。



またきてね

帰りには、お土産のお菓子とパルーンアートを抱え、「また来るね」と笑顔で帰って行きました。また今日も、小さな子どもたちから喜びをもらったような気がしました

今回も、友だちと一緒に食べると楽しく、おいしそうに食べていました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

長野青年会議所 や学生らも支援

長野市 信州子ども食堂 GoGo いーいよ



8月8日(土)、うだるような暑さの中、水害とコロナのW災害を受けた長野市赤沼 551-14 (GoGo いーいよ)で「信州子ども食堂」を開催し、子ども45名を含む計96名が参加しました❤️👶

今回は長野青年会議所の皆さんやいつもの清泉学院、長野西高校の学生さんらも参加していただき、子どもたちはゲームなど大喜びでした。



長野西高校生が食材や衣料・生活支援物資を配ってくれました。



メニューは、そぼろちらし寿司とじゃがいもの煮っころがし。清泉学院の学生さんがまかないをしてくれました。



ことみちゃんの「にじいろパワー」やメンタルケア相談、翠翔会のポップコーンコーナーも開設されました❤️👶

無料物資コーナーでは、様々な企業・個人から衣料など約5,000点(1.0t)を配布し、お母さんや子どもたちは大喜びでした👶🌟

暑い中、もんもカフェのキッチンカーでは、かき氷とタピオカが飛ぶように出ていました。

長野青年会議所地域ビジョン委員会の今井昌実委員長からメッセージが届きましたので紹介します。「当日は、暑いさなか体調を崩す方も出す無事に終えることができたことお喜び申し上げます。我々も例年であればびんずるの運営をしております時期ですが、毎年熱中症には配慮してもし足りないことが多いです。今年は、コロナ禍の影響で様々な事業がキャンセルになってしまいましたが、例年にはないかたちだったからこそ、信州子ども食堂とのつながり「絆」ができたこと大変嬉しく思います。」ありがとうございました。



支援物資提供の感謝状を伊藤理事長へ手渡す杏奈ちゃん(写真左)と長野青年会議所の皆さんによる風船づくり、ボール投げ、綿あめに挑戦する子どもたち



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ ☎️ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

8月9日の中日新聞と、10日の信濃毎日新聞に、8月8日の記事が掲載されました。当日は、長野西高等学校生の3人をはじめ、清泉女学院大学・短大生14名と長野青年会議所の若手リーダー19名がボランティア活動してくださいました。

2020年8月9日(日) 中日新聞

新型コロナウイルスの感染拡大で苦境に立たされた家庭を支援しようと、長野青年会議所(JC)は8日、県内各地で子ども食堂を運営するNPO法人「ホ

コロナと闘う

「ホットライン信州」(松本市)とともに、長野市内で希望者に食料品を無償で配布した。

無償配布 長野JCとNPO法人

苦境家庭に食料支援



食料品を無償配布する関係者＝長野市で



長野青年会議所のみなさんはブースで、綿あめ・バルーンアート・ボール当てゲームを担当し、子どもたちと交流しました。

また、長野青年会議所のメンバーや対外の方から提供していただいた支援物資の一部は、お弁当やデザートに調理され、保存の効く食料品は袋詰めして来場者に振る舞いました。

正午には、昨年10月の台風19号の犠牲になられた方へ向けて、広島への原爆投下で亡くなられた方を含めて全員で黙とうを捧げました。

県内では新型コロナウイルスの影響で仕事を失ったり、収入が減ったりする人が増えたり、長野JCでは家計への負担を和らげる狙いで食料支援を決めた。七月

「ホットライン信州」(松本市)とともに、長野市内で希望者に食料品を無償で配布した。

無償配布 長野JCとNPO法人

苦境家庭に食料支援

中甸から会員約五百五十人に協力を呼び掛け、缶詰やレトルト食品、米や野菜などが集まった。

配布会場の広場では8日、ホットライン信州が二、三食分をポリ袋に小分けして百二十人分を用意。小学校に通う娘二人と訪れた市内在住の女性は「夫の仕事が減り、以前より自宅にいる日が増えた。食べ盛りの子もいるのでありがた」と感謝した。

「ホットライン信州」によると、新型コロナウイルスを避けるため、屋内での子ども食堂の開催は難しくなっている。ただ、物資を屋外で配ったり、支援を必要とする家庭に届けたりしており、食料品や運営資金に充てる寄付金を募っている。(朝日新聞)

2020年8月10日(月) 信濃毎日新聞

食料品や縫いぐるみを配布するボランティアの高校生たち(右の3人)



信州子ども食堂ネットワーク(事務局・松本市)は8日、昨年10月の台風19号災害で被災した長野市赤沼で食料品や玩具などを無料配布した。被災地の子育て家庭を応援しようと、新型コロナウイルスによる

「ホットライン信州」によると、新型コロナウイルスを避けるため、屋内での子ども食堂の開催は難しくなっている。ただ、物資を屋外で配ったり、支援を必要とする家庭に届けたりしており、食料品や運営資金に充てる寄付金を募っている。(朝日新聞)

食料品や玩具など無料配布

長野市赤沼

うと今年5月から毎月実施。今回は長野青年会議所(JC)が会員から集めた支援物資も合わせて提供した。

地元の高校生ボランティアらがレトルトカレーやゼリー飲料などの袋詰めを配布。子どもたちには長野JCが提供した動物などの縫いぐるみを手渡した。新型コロナウイルスの感染防止策を講じながら、120食分のちらしずしも振る舞った。

ネットワークの事務局を務めるNPO法人ホットライン信州専務理事の青木正昭さん(70)「松本市」は「被災者への中長期的な支援が必要なのにコロナのために萎縮しがち。気持ちが元気になる取り組みを続けていきたい」と話した。



長野青年会議所より

開場前に子ども代表から、支援物資提供の感謝状が伊藤理事長へ手渡され記念撮影を行いました。

我々のまちづくり運動や思いが、今回はこのような感謝状という目に見える形で届いたこと大変うれしく思うと同時に、このような運動を続けていかなければいけないと実感しました。

今回このような子ども食堂の運営支援をさせていただいたことは大変学びの多い機会となりました。NPOホットライン信州の皆様、ご協力頂きましたメンバー、対外の皆様感謝申し上げます。

子どもたちから、子ども食堂のインタビューを受けました。



体力とメニュー を考えて運営中

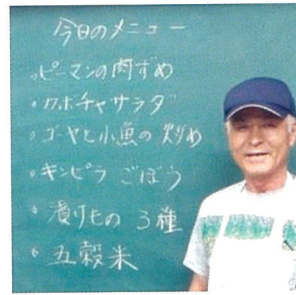
飯山市 飯山子ども食堂



3月から弁当に切り替えて、月2回の提供を続けている「飯山子ども食堂」。7月25日の参加者は、子ども28人と大人32人の60人。8月8日は子ども23人と大人19人の42人。8月22日は子ども35人と大人30人の65人でした。

スタッフは大変

弁当の提供もずいぶん回数を重ねましたが、結構疲れます。スタッフも割と高齢で、最近「大変だ」とよく言われています。毎月の開催回数を増やしたいと思っても、弁当対応とフードマルシェとでは、とても大変でスタッフの体力も続かず、支援するこちら側が潰れてしまいそうですが、体力とメニューを調整しながら、がんばっていきます。



お母さんが大変

お母さん同士の横のつながりなどで、毎回新しい参加者が見られます。生活に困っている方もたくさんいらっしゃいます。フードマルシェでは、特に米、味噌、醤油が人気です。飯山はおいしい米どころですが、地元にはほとんど出回らず、あっても高く買えません。田んぼの無い方は、米に苦労しているようです。



←たくさんの新鮮な野菜が届きました

人気のフードマルシェですが、運営は大変です→



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください



親子で夏休みの 工作と研究

飯綱町 てんぐカフェ

8月8日(土)、飯綱町のメーラプラザで開いた子ども食堂「てんぐカフェ」。今回は、飯綱町社会福祉協議会が主催した「夏休み親子自由研究教室」とタイアップして開催しました。

参加者数は、子ども26名と父母等11名、スタッフ11名(調理5名・交流3名)、講師3名の計48名でした。



親子で協力して工作

午前中は、小学校低学年の親子が対象のイベント「夏休み親子自由研究教室」でした。

小布施町の「ゆーかい工房」の川上 明さんとメンバー2人に教わり、

「ブンブンコマ作り」の工作に親子で協力して取り組み、自分たちが作った作品を回してみました。

食事は二部屋に分かれ、ソーシャルディスタンスをとりました。配膳は大人の参加者にも手伝ってもらいました。

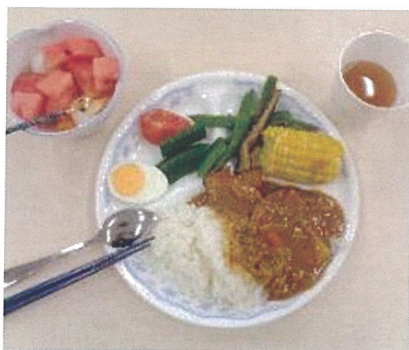
川上さんが持ってきた直径50cm以上の厚さも重さもある大きなコマを2~4人の子どもと大人も手伝って回してみました。とても大きな力が必要なので、はじめは上手く回せない人もいましたが、何度もやっているうちにコツをつかみ上手く回していました。

その後は、理科の勉強にもなる手作り装置(回転イスに座り手を広げスピードの変化の体験、模型自転車の綱渡りでバランスを考える、ビーチボールをブローで空中に浮かす)のほか、科学のおもちゃを使って遊んだり、学んだりしました。歓声や笑い声も聞こえ、驚きや発見で目を輝かせていました。

スタッフ渾身の夏野菜カレー

お昼は、調理スタッフの手の込んだ「夏野菜のカレー」です。トッピングには、ナス・かぼちゃ・ポテトの素揚げ、きゅうり、トマト、トウモロコシ、モロッコいんげんなどの夏野菜が添えられ、デザートにフルーツポンチもついている豪華なカレーでした。小さな子どもから大人まで、多くの方がお代わりもしてくれ、みんなニコニコしながら、おいしそうに食べていました。

スタッフの食事は、みんなが帰ったあと。子どもたちと一緒に食べられなくて残念でした。



GoGo いーいよ 最後の開催

信州子ども食堂 GoGo いーいよ



9月12日(土)、令和元年東日本台風(台風19号)による千曲川の堤防決壊から11ヶ月。水害とコロナのW災害を受けた長野市赤沼551-14(GoGo いーいよ)で、最後となる「信州子ども食堂」を開催しました。

参加者は、子ども44名を含む計79名👍👧👦

メニューは、信州子ども食堂ネットワークによる炊き込みご飯と煮込みハンバーグ、玄向寺のフルーツとおまんじゅうのほか、ゼリー、かき氷、タピオカ、お菓子、綿あめ、ポップコーン、ぷよぷよ、支援物資などを提供しました。



野外で3密を避け、思い出を刻む美味しいお弁当食べました👍👧👦



いつもの清泉女学院生10名も参加してくださり、まかないをしてくれました。子どもたちは大喜びでした。



無料物資コーナーでは、様々な企業・個人からの👍👧👦食材や衣料や長野製作所様よりフェイスシールドなど約4,500点(1.0t)を配布し、お母さんや子どもたちは大喜びでした👍👧👦



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

千曲市桜堂の(株)長野製作所様よりフェイスシールドのキットを100組をご寄贈いただきました🍌
 さっそく、会場で子どもたちが作成し、会場案内や学生スタッフが活用しました🍌。



また、9月19日に開く信州子ども食堂でも子どもたちに作ってもらい、プレゼントさせていただきます！お楽しみに🍌💖

長野製作所様ありがとうございました🍌



暑さの中、もんもカフェのキッチンカーでは、かき氷やタピオカが飛び出すように出ていき、子どもたちののどを潤していました💖🍌



翠翔会の綿あめ・ポップコーン・ぷよぷよに、子どもたちが長蛇の列をつくっていました。



最後になった会場で記念撮影。
 次は、別の場所での開催となります。
 また、会いましょう 🍌



夏休み特別企画 ワカるとで遊ぼう

長野市 まんぷく食堂



夏休みになっても、コロナでなかなか外出できないお子さんたちのために、8月1日（日）、小学生対象の夏休み特別企画を行いました。参加者は子ども13人と中高生3人、大人7人の計23人でした。

若穂のワカホームから中澤さんをお招きし、“ワカると”で楽しく遊びました。ワカるとは、中澤さんたちが 災害やコロナで不自由を余儀なくされている方々を元気つきたいとの想いで生まれたテーブルゲームで、段ボールで作った4目並べです。



中澤さん(左端)とサポート役の中高生のみなさん。説明を聞く小学生の皆さん。



まずはワードスナイパーというカードゲームでアイスブレイク。その後、自分のワカるとの駒に色付けし、実際に対戦！。頭の柔らかい子供たちはルールもすぐ覚え、時には大人が負けてしまうことも…。年齢関係なく遊べるのがワカるとの良いところですね♪。

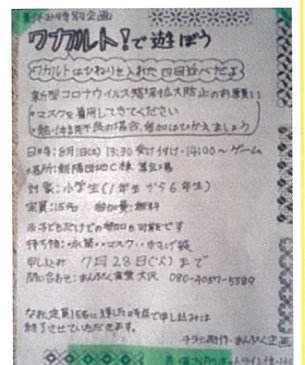
ワカるとの色塗り。お母さんたちは作業を見守りつつ情報交換。その向こうで小学生未満のお友達がかかるたで盛り上がり！
それぞれに楽しむまんぷく食堂♥



中高生のお兄さんと対戦

“まんぷく企画” 始動

今回のチラシ(→)は、中高生の力作。まんぷく企画として活動を始め、現在の参加者は全員男子で、高校生2人、中学生1人の計3人です。企画当日もスタッフとして大活躍。事前に中澤さんと打ち合わせをしてくれて、色塗りのやり方や対戦方法を小学生のお子さんたちに教えてくれました。こうした自主的な活動が始まるのはとても嬉しいことです！彼らの今後を楽しみにしています♪



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

オレンジカラー で世代の交流

長野市 信州子ども食堂「柳町カフェ」



9月13日(日)の昼、長野市の柳町介護サービスセンター通所介護事業所で開いた第18回信州子ども食堂「柳町カフェ」。子ども9名と大人13名(ボランティア含む)の計22名が参加し、子どもから大人・高齢者の方まで世代を超えた『地域の交流の場』で、食事をしながらみんなで日曜のひとときを一緒にすごしました。



9月はアルツハイマー月間

9月21日は「アルツハイマーデー」ということで、ボランティアの方と「料理したい」と来てくれた子どもたちにオレンジ色のパンダナをしてもらいました。

お楽しみメニューは、ライスバーガー(焼肉・きんぴら・ミートボール)、チップス☆チップス(ジャガイモ・ごぼう)、かぼちゃサラダ、ごぼうのチーズ焼き、オニオンスープ、オレンジゼリー

オレンジリボンは、児童虐待防止としての活動がありますが、認知症支援のカラーとしても採用されています。



新型コロナウイルス感染症への対応

☆入口にてお名前の記入と体温計測のご協力をお願いし、ご家族など県外から往来があったり、体調不良の方がいる場合はご遠慮いただきます。

- ☆食事の時以外は原則マスク着用
- ・こまめな手洗いをお願いします。柳町カフェは開始前から換気
- ・消毒を実施し、3密にならないようテーブルを配慮しています。



ご家族で来てくださる方が増えてきました。お子さんたちは少なく、少し残念でしたが、これからも続けていきたいと思えます。

また、夕食のお弁当を試みたいと思って提供方法を検討中です。お楽しみに♪



主催：社会福祉法人 長野市社会福祉協議会

共催：NPO ホットライン信州、信州子ども食堂ネットワーク

協力：社会福祉法人 くりのみ園、ドン・キホーテ長野駅前店、さがみフーズ(株)

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

桜スクエアで 青空子ども食堂

長野市 信州子ども食堂



9月19日(土)、長野市での「信州子ども食堂」は、コロナ禍での3密回避のため長野市役所前の桜スクエアで開催。青空の下で子ども食堂を、子ども76名を含む182名が楽しみました👨👩👧👦。

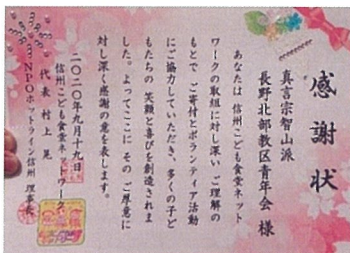


塩焼きそば・焼きおにぎりなど予定した120食では足りず、追加で苦戦しました。毎回参加の清泉女学大学・短大生25名と長野西高校や塩尻志学館高校など多くの方に参加して戴き、子どもたちと一緒に広い芝生で遊んでもらい大喜び❤️でした。



もんもカフェのキッチンカーのかき氷🍧とタピオカ、翠翔会のりんご飴🍬など、子どもたちに大人気でした

ご協力いただいた6学校・会社・個人の方々に感謝状をお渡ししました



東北信地方のお寺のご住職などで作る真言宗智山派長野北部教区智山青年会さんと長谷寺さんから、おすそわけと物心両面のご寄付をいただきました。



9月26日(土)に、新たに長野市安茂里地区で開催する子ども食堂「あもはぐ」さんから感謝状の飾り付けや磁石173個などをたくさんいただきました❤️。



広い芝生で思い思いに楽しむ子どもたち



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

9月20日の新聞で報道されました。

2020年9月20日(日) 朝日新聞

コロナ禍 苦境の子ども食堂

3密・かさむ食材費…開催減少

新型コロナウイルスの影響で、食事支援をする「子ども食堂」の開催が難しくなっている。「3密」を避ける必要があるほか、食事の提供方法をお弁当に変えたり、食材を購入したりする費用もかさむためだ。母子家庭など食事に苦慮する世帯もあり、県も追加支援に乗り出した。

「これ、おいしいー」。「信州子ども食堂ネットワーク」として、県内90カ所で開催。延べ1500回、親子ら計6万5千人が参加。役所前の桜スクエアで19日、開かれた子ども食堂。塩焼きそばやトマトが入ったお弁当と、お菓子、タピオカミルクティーなどが提供された。

開いたのは「NPOホットライン信州」。2016年1月に設立され、賛同した個人や団体、大学、民間企業などに取り組みが広がった。同団体を中心とした「これを受けて県は9月補正予算案に、追加支援として406万円を計上。年6万円の支援ができるようにする方針だ。担当者は「一時より感染が落ち着いたことで、少しずつ開催できるようになってきた。継続的に支援したい」と話す。



長野市で開かれた子ども食堂。無料でお弁当やお菓子、野菜などが提供された

屋外で弁当提供にシフト／県が追加支援へ

何とか工夫して開催しようと、場所や食事の提供方法も変えた。これまでは食事は室内で作り、その場で提供する事も多かった。現在は屋外が増え、別の場所で作ったり、容器に入れてお弁当で提供したりしている。

県は2016年から、食事の提供や学習支援を行う「信州子どもカフェ」の開催を呼びかけており、9月1日現在で119の団体が参加。昨年から参加団体に対し、年3万円の助成金を出して支援してきた。ただ、今年3月には開催は18団体にまで落ち込んだ。一時は感染拡大で公営施設が閉鎖されたほか、確保が難しくなったため、家庭で眠る食べ物を寄付してもらった「フードドライブ」が減り、食材を買う必要も出てきたという。

これをを受けて県は9月補正予算案に、追加支援として406万円を計上。年6万円の支援ができるようにする方針だ。担当者は「一時より感染が落ち着いたことで、少しずつ開催できるようになってきた。継続的に支援したい」と話す。



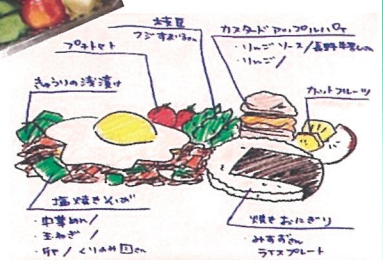
長野牛乳さん



長野のおじちゃん

2020年9月20日(日) 信濃毎日新聞

松本市の玄向寺さんからのパイナップルやリンゴなどを、カットフルーツやカスタードアップルパイにして美味しくいただきました。



お土産を手にしたお母さんたちは、今日の食事は「とても美味しかった♡」と大喜びでした。♡

長野で「子ども食堂」手作り弁当振る舞う 松本のNPO NPO法人ホットライン信州(松本市)は19日、子どもに居場所や食事を提供する「子ども食堂」を長野市役所西側の「桜スクエア」で開いた。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、生活に影響が出ている親子に食事などを提



ホットライン信州 撮影

長野北部教区智山青年会の仲間と長谷寺さんが白米の袋詰



清泉女学大学・短大生 25名が参加し、会場設営から食事作りや子どもたちと一緒に工作など楽しみました。



美しく 立派なお弁当を提供

飯山市 飯山子ども食堂



9月12日(土)に開いた「飯山子ども食堂」の参加者は、こども30名と大人34人の64人。

献立を飯山日赤の管理栄養士さんが立ててくれました。細かくて大変でしたが、いままでになく一皮剥けたメニューで、きれいで美しく立派なお弁当になりました。



ずら~っと並べたお弁当をみんなで詰めていきます



フードマルシェも毎回人気です

大変な作業を手際よくこなしてくれるスタッフさんたち。これからも体力に気をつけてがんばります。



飯山子ども食堂は、3月から弁当に切り替えて提供していますが、最近スタッフから「大変だ」「大変だ」と言われています。

次回は、9月26日(土)です。

開催日には、市の広報で放送を流しています。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

手づくり屋台の 楽しいお祭り

長野市 信州子ども食堂「古里カフェ」



9月20日(日)の信州子ども食堂「古里カフェ」は、みんなで浴衣や甚平を着て集まりました。

受付して、古里子ども銀行から1人2000円分のお金をもらったら、楽しいお祭りのはじまりです。



子ども14名と大人9名がお祭りを楽しみました。

手作りのさかな釣り。釣ったらお菓子がついてたよ!



1番人気だった射的。ど真ん中の景品は、100万円(かまぼこ)のお札。真剣な顔で挑戦しました。

ダーツは、はずれてもお菓子をもらってうれしそう。



屋台は、上段に焼きおにぎり、皿うどん、ポテトフライ、鶏の唐揚げ、肉だんご、ミニドック。中段にはデザートミニホップ、下段はパンプキンサラダをきれいに並べました。

手作りの輪投げ。3個入れるのは難しいようでした。はずれてもスタッフにおまけしてもらって欲しい景品をゲットしていました。



お祭りは、子どもスタッフ4人が最後まで担当。前日の準備から一緒にやってもらい、「明日はできないから」と、4人でゲームを堪能していました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

常連さんに心地よい居場所

中野市 なかの子ども食堂



9月26日(土)の「なかの子ども食堂」。近隣でのコロナ確認を受けて、急遽お休みにした8月。7月は4ヶ月ぶりということと、ためらいがちな広報もあり、参加者が少なかったということのを思い返し、いつも通りの広報をして31回を迎えました。

参加者は子ども5人と大人6人、スタッフ16人の計27人。「飲食店も客足がもどらないらしいし…」、「みんな警戒して来ないんだろうね」としながらも、2ヶ月ぶりに訪れた常連さんたちに、ほっとしました。



メニューも感染予防を第一に考えたものです。今回は「牛丼と具たくさんのみそしる・袋入りクッキー・ペットボトル麦茶」です。

今後も、「丼+汁物」というスタイルが続きます。調理のスタッフが、ただいたり持ち寄ったりした食材を見て、予告メニュー以外のおかずを即席に作って分け合うことも楽しみの一つで、他の主婦の料理の工夫を知ることもいいおみやげだったのに残念です。

検温



入り口で体温測定と消毒。会場の消毒と飛沫がとばないようにという配慮など、面倒できりがいいけれども正解もない作業を分担して迎えるスタイルはしばらく続きそうで気がめいります。

デザートの小分け



仕事の日で、短い昼休みを使って顔を出してくれた若者やお馴染みの常連さんにとっての居心地のいい「居場所」であることは確かです。しばらくは細々とつなぎ、また大勢で工夫いっぱいメニューをいただいたり、子ども達が楽しめるイベントを考えたりできる日を待ちます。次回は、10月24日の予定です。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

コミュニティ広場 あもはぐ初開催

長野市 安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」



9月26日(土)、長野市で安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」(共催:信州子ども食堂ネットワーク(NPOホットライン信州)、後援:安茂里地区住民自治協議会)がはじめて開かれました。

第1回目は、おさがり市&お菓子・軽食の提供を、9:30~安茂里公民館1階会議室で行いました。



子ども22名と大人18名の計40名が参加し大盛況。受付で「100あも」チケットを受け取った子どもたちが「あもはぐ駄菓子屋さん」で好きなお菓子を選びました。



おさがり市では、ママさんはじめ、子どもたちも楽しそうに選んでいました。



衣料品、お米、離乳食、手作りマスク、商品券のご寄付など、たくさんの品々をご提供いただきました。



次回は10月10日(土)。毎月第2・第4土曜日の9:30~11:30の開催です。ボランティアスタッフを募集しています。地域のために活動されたい方、子どもが好きな方などご都合の良いときだけでOKですので、お気軽にご参加ください。

「あもはぐ」のネーミングには、安茂里の子どもたちを温かくハグしよう(抱きしめよう)との願いが込められています。裾花小学校の地域サポーターを務める白石香さんが、安茂里地区でも子ども食堂を立ち上げたいと熱意をもって、地区内の小中学校をはじめ住民自治協議会や公民館に働きかけ、「子どもの居場所づくり」としてスタートさせました。

安茂里子どもコミュニティひろば

あもはぐ

毎月第2・第4土曜日
9:30~11:30開催
(仕方が変更になる場合があります。LINEをチェックしてください)

日程:令和2年9月26日(土)
第1回 時間:9:30~11:30
場所:安茂里公民館1階 会議室会場

おさがり市&お菓子・軽食フェスティバル

親子で、お買出し同士で、みんなで遊びに来てね! (物販限定)
※主催:安茂里地区住民自治協議会、後援:信州子ども食堂ネットワーク、共催:あもはぐ実行委員会

お母さんへのお礼 (情報提供)

ボランティアスタッフ募集

お問い合わせ:0120-914-994

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業
無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください



ともに食事できる日を願う弁当

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ

9月26日(土)、小諸市の相生会館で52回目の「信州子ども食堂 in こもろ」を開催しました。主催は「信州子ども食堂 in もろ実行委員会」で、メンバーは、青少年児童育成会、そえ木の会、消費者の会、相生町おかみさんの会。特別参加で清泉女学院大学1年の林部さんが、スタッフとして来てくれました。



11時30分から事前予約をした子ども21人と大人18人、そしてスタッフ8名の合計47人分のお弁当とお菓子、野菜の袋詰めを配布しました。メニューは、おにぎり2種類、圧力鍋で蒸かしたジャガイモと煮かぼちゃにレタスを添えました。



当面はお弁当のテイクアウト方式と思いますが、食事をともにできないため、子どもたちとの交流もできず、また料理の感想も聞けないことで、何かもの足りなさを感じています。


一日でも早く従来の食事会が開催できればと願っています。

NPO ホットライン信州からチーズビスケットとヨーグレットお菓子、立科の宮下さんから玉ねぎとジャガイモ、坊ちゃんかぼちゃ、御代田の荻原さんからスイカとジャガイモ、いんげん、きゅうり、紺屋町の仲岡さんからお米30キロ、社協から白土ばれいしょ8キロとお米30キロ、調味料各種、油4本、ジャスミン茶、川上村からレタスのご協力をいただきました。



今後も「食を通じた世代交流で市民同士が支え・助けあうふれ合いの循環社会のまちづくり」をめざし、100回に向け挑戦しようと思います。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

第2・第4土曜 は“あもはぐ”

長野市 安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」



2回目になった「あもはぐ」を10月10日(土)9:30～長野市安茂里公民館2階の会議室で開きました。

冷たい雨であいにくの空模様でしたが、元気な子どもたち11名が、お父さん・お母さんと一緒に、あわせて20名の来場がありました。



大好評の「おさがり市」では、子どもの衣類や日用品などを提供しました。当日もたくさんのお下がり品の提供をいただき、これから大活躍のジャンパーやスキーウェア、ブーツなどが大人気でした。



受付を済ませた子どもたちは、駄菓子コーナーで、「どれにしようかな?」と、好きなお菓子を選んでいました。

軽食とお土産には、宮下製氷冷蔵さまからいただいた「ほかほか肉まん」。蒸したものと、冷凍のものを用意しました。ほかにも、キャラメルポップコーンや芋井産の梨など、お腹もハートも、ほっこりする一日となりました!



今回からスタートした「ネームホルダー作り」。名前を書いたら、シールやリボンなど、お好みの材料を選んで飾り付け。次回からの「あもはぐ」に遊びにくるときは、これをつけてきてね♪

ペットボトルキャップを使った「スイーツデコマグネット」にも挑戦し、可愛いパティシエが上手にデコレーションしていました。

次回は10月24日。

定番の「おさがり市」、「駄菓子屋さん」、「手作りコーナー」をはじめ、翠翔会による「スマホを使った避難所の探し方」コーナーを10時～11時30分に開きます。「CMAP」という無料スマホアプリを使い、防災・減災について学びます。

11月14日は「クリスマスの飾りを作ろう!」どんな飾りができるかな?楽しみですよ(*^^*)

11月28日は「交通安全教室」講師の方が、腹話術や寸劇で、交通安全を教えてください♪

『あもはぐ』は、どなたでも無料で参加できますので、お気軽にお越しください。

第2・第4土曜日は、『あもはぐ』へ! 安茂里公民館2階、会議室で開催します😊

被災地を応援 ながとよマルシェ

長野市（長沼・豊野） ながとよマルシェ



台風19号から1年の節目を迎える10月11日（日）、長野市の被災地（長沼・豊野）を応援しようと、「ながとよマルシェ実行委員会」主催で開催、NPOホットライン信州（信州子ども食堂ネットワーク）が食材を提供しました。子ども約300名を含む600名が参加、復興にむけて大きな力となりました。



受付には開始前から100名ほどの列ができるほど、皆さん心待ちにしていた様子😊



子どもたちは、美味しい中華ほんわか肉まんにカブリつき、わたあめ、バルーンなどで盛り上がりました。

新鮮な白菜やレタスなど手に、遊具コーナーで遊ぶなど、各ブースを楽しみました。



子どもたちのキッズダンスも見ごたえもあり、家族の笑い声や歓声が会場に響き渡った1日でした😊



長野県台風19号被災地支援活動
**新型コロナに負けない！W災害から
 こどもと家族を支えよう**

発災から豊野・長沼地区に支援活動を開始、5月から9月まで「信州子ども食堂 赤沼551」として青空子ども食堂を開催してきました。令和元年台風19号被災地支援信州子ども食堂は、発災から1周年を迎える10月に、長沼・豊野地区支援団体、『災害支援チームアッシュ』と連携し行けた取り組みの中で『信州子ども食堂』を共同開催致します。

復興イベント 第2段
ながとよのマルシェ
 ×
信州子ども食堂 ネットワーク
 ミニキッズランド

遊び・子ども支援ブース
 ストラックアート
 バルーンアート
 などなど

10.10 SAT →
10.11 sun
 11:00~16:00

場所・交通
 〒381-0002 長野県長野市赤沼2-3-9-1
 デリシア ユーパレット赤沼店横駐車場
 (臨時休業中)
 アップルライン国道18号沿い
 豊野駅から徒歩12分

主催：特定非営利活動法人NPOホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)
 お問い合わせ申し込み ff52160@nifty.com 無料相談 ☎ 0120-914-994
 共催：ながとよマルシェ実行委員会
 後援：長沼育成会連絡協議会

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください



半年ぶり室内で 和気あいあい

長野市 信州子ども食堂

コロナ禍での3密回避のため青空子ども食堂だった長野市での「信州子ども食堂」は10月17日(土)、久しぶりに室内に戻り、元気な子ども27名を含む60名が楽しみました。



今日は、いつもお手伝いいただいているボランティアさんに加えて学生さん方にも、キッチンで大活躍していただきました。料理をやったことがある子もいない子もみんな一生懸命作っていただきました。

毎回参加の清泉女学大学・短大生9名と長野西高校2名と長野東高校など多くの方に参加していただき、一緒に勉強したり遊んでもらい子どもたちは大喜びでした。



メニューは、宮下製氷冷蔵さんからの肉まん、牛すじどて煮まん、サラダ生ハム、ミニトマトトッピング、中日本フードさんからのひき肉たっぷりのミートソースとチーズをのせたイタリアントック、柿ノ木冷温フーズさんからのきのこをたっぷり使った美味しいお味噌汁。デザートには、朝、飯山から届いた栗で作った栗のパイとスイートポテトとナシと美味しい高級チョコレートでした。

信濃毎日新聞

令和2年(2020年)9月26日(土曜日)



長野 和気あいあい 信州子ども食堂
半年ぶり室内で調理と食事

NPO法人ホットライン信州(松本市)は17日、長野市の食堂は新型コロナウイルス対策で9月まで、調理は屋内、ふれあい福祉センターで信州

寄付された食材を使って多彩に調理したおかずを盛り付ける信州子ども食堂の参加者ら

食事提供は屋外でと原則的に行ってきたが、気温低下を受け約半年ぶりに調理・食事ともに屋内で実施。感染対策に配慮しながら和気あいあいとした雰囲気の中で、約100食を提供した。

調理室では、マスク姿の運営スタッフや学生ボランティアが企業や個人から寄付された食材を、牛すじ入りの肉まん、トック(韓国の餅)やミニトック、イタリアントック、サラダなどを多彩に調理し盛り付けた。

食事会場は2部屋に分け対面も避け、提供時間も1時間ずつ3回にした。友人と来た市内の小学4年の女児(9)は和室で食事を取りながら「肉まんがおいしい」と笑顔。同法人専務理事の青木正昭さん(70)は「新型コロナウイルスで雇用や経済環境が不安定化している。どんな形であれ継続開催することで子どもも大人も元気になる」と話していた。



みんなで美味しくいただきたいところでしたが…三密をさけて、交代でいただきました。早くにぎやかにみんなで楽しく食べたいです。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

秋の楽しみ芋ほり りとハロウィン

長野市 信州子ども食堂古里カフェ



10月3日(土)、こどもスタッフと一緒に芋掘りをしました。古里こどもカフェ事務所の西側空き地に5月28日に植えた5本の苗。大きなさつまいもに育ち、こどもたちも「とったどー！」と大喜び。大小10個の収穫でした。



さつまいもは11月のこども食堂で調理して提供します。さつまいものつるは、きんぴらにして食べましょう。陰干して、リース作りにも使



いたいと思います



雑草を取りながら芋掘り開始。大きなさつまいもを掘り起こし、うれしそうな笑顔でした。ミニトマトも収穫しました。

こども食堂で楽しくハロウィン

10月18日(日)、古里こどもカフェ事務所で「こども食堂 in ハロウィン」を開催。家から仮装してきた10名(子ども6名・大人4名)が楽しみました。



メニューは、ハロウィンカレー卵サラダ添え、りんごのコンポートゼリー添え、白菜漬け、クッキー袋詰と麦茶。

長谷寺からのお米に、coco 壺からのカレー、くりのみ園からの卵、JAからの白菜と人参、白石さんらのじゃが芋などを使いました。フリフリポテトは、フライドポテトを紙袋に入れて好きな味な粉を入れ、フリフリ、シャカシャカ、楽しそうでした。昼食は食後の綿あめを食べたくて残さずに完食しました。


ご寄付をいただいた松本のお爺さまへありがとうございますのお手紙を書きました。幼稚園児は一生懸命絵を描いてくれました。そして、お菓子の詰合せをお土産に、仮装したまま「バイバイ また来るね」と帰って行きました。



ハロウィンクッキーは上から、紫いも、カボチャ、抹茶、ココア



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業



交流が楽しい みんなの食堂

山ノ内町 やまのうち みんなの食堂

10月17日(土)、第5回目の「やまのうち みんなの食堂」を開きました。今回は、どんぐりの森公園で毎月開催されている「あそびば」との共催で、町内外から集まって来た親子に、カレーと肉まんを提供しました。



当日は天気も悪く、集客が心配されましたが、お昼が近づくとつれて多くの親子が集まってきて、最終的に110名の方に提供できました。



食材の多くは町内の方からいただきました。また、当日はリンゴやブドウの提供もありました。ほかにも山ノ内町の備蓄食料よりご寄付いただいた焼き鳥や、宮下製氷冷蔵様よりNPOホットライン信州を通じていただいた肉まんが好評でした。ご提供ありがとうございました。



参加者の中にはカレーを食べるため、仲間に声をかけ複数で来てくれた高齢者もいて、子ども達と話しながら楽しそうに交流する姿も見られました。



みんなの食堂の今後の開催はまだ未定ですが、町内のいろいろな世帯や家族が気兼ねなく集まって楽しくごはんが食べられる居場所の提供ができるように、会場や時間を変えたり試行錯誤しながら実施していきたいと考えています。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

常連の方を大事 に！細く長く

中野市 なかの子ども食堂



10月24日(土)の「なかの子ども食堂」には、子ども7人と大人5人、スタッフ10人の計22人が参加。

メニューは、親子丼と豚汁。デザートはりんご、オリンピック(高級ブドウ)、スイートポテト(いただいたサツマイモでスタッフが手作り)、ハロウィンお菓子(市販)。飲み物はペットボトルの麦茶かアクエリアスでした。



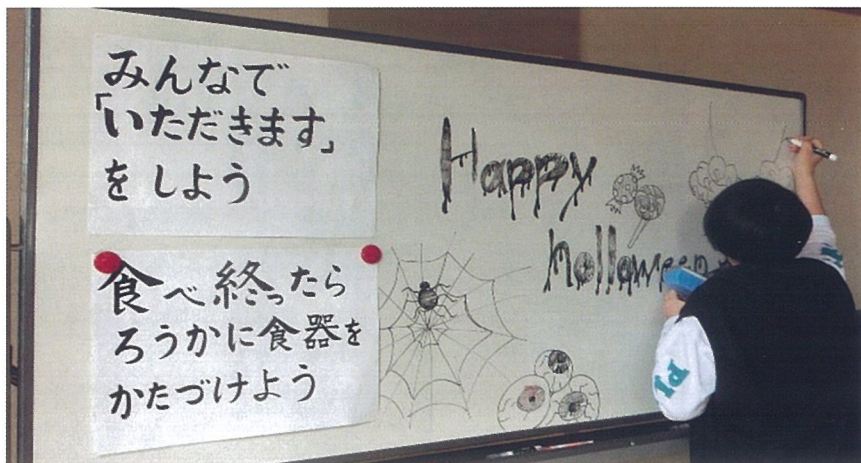
時間短縮で楽しい企画もなく、簡単なメニューにもかかわらず、楽しみにしていてくれる常連参加者に感謝し、細く長く、砂嵐をやり過ごすために身を伏せて堪え忍ぶような取り組みが続いています。

コロナ対策で、厨房で盛り付けてから手早く運ぶ。デザートは飛沫対策でラップをかけて。割り箸やスプーンも先を紙ナプキンで包むなどの手間もかかります。

そんな中ですが、大人の年配の方ですが、前回も今回も新しい参加者がいたことがうれしいことでした。

昨年までなら、10月はハロウィンだからと、飾りを工夫したり、遊びの企画を立てたりして楽しみましたが、そういう工夫もできません。

そんな中、中学生美術部の参加者が白板にハロウィンのイラストをかいてくれました。食堂終了後も区民館なので消さなくてはならないのに消してしまう気になれないで、「残すかどうか」話していたスタッフもいました。




例年10月・11月は、農作業や行事が重なりスタッフも手薄になります。今回は30人分を主に3人と手が空いたスタッフのお手伝いで作りました。忙しかったです。食材は、スタッフとその知り合いの方から寄付された野菜もふんだんに使いました。

次回は11月28日、きのこごはんの献立。12月は可能なら少しくリスマスの楽しみを盛り込みたいと考えています。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

中秋のお彼岸に 手作り おはぎ

飯綱町 てんぐカフェ



9月26日(土)の「飯綱町てんぐカフェ」は、秋のお彼岸にちなんで6人の調理スタッフが思いを込めて手作りした「おはぎ」などのメニュー。

4家族(乳幼児・父母など16名)とスタッフ11名で、微笑ましい時間を過ごしました。



大人気のバルーンアート

バルーンアートづくりが得意な交流スタッフがつくる新作のカエルなどの動物や剣。その場でつくってもらったバルーンアートをプレゼントされ、遊んだあとはお土産に持ち帰りました。

メニューは、あんこ・ゴマ・きな粉の3種のおはぎと、鳥中華炒め、きのこ汁、かぼちゃサラダ、マッシュマロヨーグルトに、りんご。



家族いっしょに和やかに

早めに来た家族は、みんな一緒にプレイルームで思い思いのおもちゃなどで遊んだりしたほか、お母さん達はおしゃべりを楽しんでいました。

食事は、子どもたちから、「おもち好き」、「おいしいね」などと喜ぶ声が聞こえてきて、みんな「おはぎ」が大好きでした。

食べ終わると小さな子どもは、ちょっとはしゃぎまわる子もいました。ニコニコしている子どもたちを見ていると、こちらも幸せな気持ちになりました。

うれしい「ごちそうさま」

食事をしているスタッフに女の子が近づき、お母さんにうながされると「ごちそうさま」をしてくれました。ほほえましく、うれしくなりました。

これからも季節の行事などに合わせた料理で、みんなに喜んでもらいたいと思います。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

高校生の協力で 楽しい居場所

木島平村 木島平こどもカフェ



10月24日(土)、第7回「木島平こどもカフェ」を無事に開催することができました。子ども87名と大人20名、下高井農林高校からの先生と生徒さん19名、スタッフ19名、合計で145名の参加者でした。



これ1品で栄養満点。もはや汁と言うより…の域です(笑)

メニューは、豚汁とおにぎり。調理室での密を避けるためにもメニューを絞り、また使い捨ての食器なども利用しながら調整しています。

豚汁は中味の具材が豊富。ネギ、玉ねぎ、かぼちゃ、ジャガイモ、さつまいも、里芋、なめこ、ハタケシメジ、人参、大根、ごぼう、生姜、こんにゃく、油揚げ、豚肉…。



前回は大人気だった「しおり作り」に加え、今回も農林高校の皆さんが考えて来てくれた子ども達のお楽しみ「ハイドロカルチャー体験」。カット済のペットボトルの底の部分へ、好きな色の吸収体ポリマーを入れ、オリヅランなどの植物を植えると、水栽培できる観葉植物ポットの完成で

村内でも様々なイベントが中止されていることから、少しでも子ども達のお楽しみを考え、村民祭でお馴染みの「こども祭り」とコラボしました。無料の引換券で、射的・水ヨーヨーなどの遊びを体験できます。こちらでも、高校生が手伝ってくれ、混雑や密を避けながら楽しむことができました。体育館遊び、外遊び、工作などの自由遊びに加え、こども祭りが人気コーナーになっていました。



す。ペットボトルの切り口も、危なくないようにマスキングテープで囲ったものを用意してくださいました。農林高校の生徒さんはもちろん、先生方も楽しみながらご参加くださっているところが、本当に感慨深く感じます。素直な生徒さんと優しい先生方、地元の高校が、こうして地元のこどもカフェに関わってくださることは、子ども達にとっても一緒にお姉さん・お兄さんと遊んでもらえる大きな喜びでもあり、とてもありがたく思っています。



次回開催予定は、12月19日(土)10時~14時、木島平村農村交流館で。クリスマスを感じられるこどもカフェを開催できたらと思案中です。また次回から、お箸&スプーン持参のご協力をお願いしたいと思っています(記名を忘れずに)。

老若男女、誰でも気軽に参加できる居場所づくりとして。木島平の豊かな自然を守りながら、活動を続けていくためにも。多くの方にご理解いただきたく、ご協力よろしくお願いたします。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

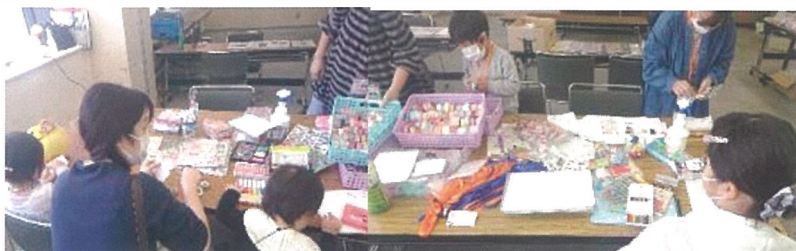
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください



定番コーナーも 多彩で大好評！

長野市 安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」

3回目の「あもはぐ」を10月24日（土）、安茂里公民館2階会議室で開きました。子どもたち8名と大人10名の計18名の来場がありました♪
軽食コーナーでは、「お赤飯」と「栗おこわ」を10パックずつ提供しました。



(*ω*)

定番のお下がり市、駄菓子屋さんも大好評♪
「篠ノ井布施五明のじいじ」からいただいた柿をはじめ、雑貨や絵本など提供品もさまざまでした😊。
また、ネームホルダーを作ったり、11月のオリジナルカレンダーを作ったりと、親子で楽しんでもらいました♪



前回は大好評だった「みゆきママの手づくりコーナー」は、大人気のマスクをはじめ、マスクケースやシュシュなど多彩！

『特別コーナー』は、翠翔会による【スマホを使った避難所の探し方】

いざという時、小さい子どもを抱えて、どこに避難したほうがいいか。また遠くに住んでいる大切な方に「近くに〇〇という避難所があるから、そこへ行って！」と伝えることができる、便利なアプリの使用方法を教えていただきました。



万が一に備えて、家族の命を守りましょう！

今回、ハロウィンに合わせて、お姫様&黒猫ちゃんが遊びに来てくれました😊
あもはぐスタッフへ、お菓子をプレゼントしてくれました♪ありがとうね♥




次回は11月14日（土）、同じく安茂里公民館の2階学習室です。クリスマスの飾りをみんなで作ります！

9時30分スタート。11時からはお片づけタイムです。11時30分まで開催しています。お気軽にお越しください！

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

ラインで予約し お弁当を配布

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ



10月24日(土)、小諸市相生町の相生会館で53回目の「信州子ども食堂 in こもろ」を開催しました。



スタッフは9時に集合し、お弁当作り。11時30分から事前予約をしたこども23人と大人19人の計42人分を配布しました。



また、事前にいただいたお菓子と野菜の袋詰めを各世帯に配布しましたが、12時30分には終了しました。



今回も事前にラインでチラシを配信し、一日で42名予約が入りました。

清泉女学院短期大学1年生の大井さんに参加の感想を聞いたところ、「大変勉強になりました」とのことでした。



メニューは、ゆかりとワカメの「おにぎり」2種類、じゃがいもときゅうりと干しブドウ入りの「カボチャサラダ」、爪楊枝に刺した「ウインナーときゅうり」、うさぎ型の「りんご」と「白菜漬け」です。

コロナウイルスの感染防止の3密をできるだけ避けるため、スタッフの数を減らし、また調理時間を短縮するようメニューを絞り込み、スタッフの分も含め51食のお弁当を作りました。

NPO ホットライン 信州さんからチーズビスケット2ケース、立料の宮下さんから大根と白菜・キャベツ・はやとうり、御代田の荻原さんから白菜10個、紺屋町の仲岡さんからお米10キロ、青雲館さんからりんご段ボール1箱をいただきました。



コロナ終息までにはかなりの時間がかかると思われますので、新たな「子ども食堂のやり方」を試行錯誤しながら考えていく必要があると思います。当面はお弁当のテイクアウト方式と思いますが、食事を共に出来ないため、

こども達との交流もできず、また料理の感想も聞けないことで、何か物足りなさを感じています。一日でも早く従来の食事会が開催できればと願っています。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

提供品たくさん 感謝いっぱい

長野市 安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」



11月14日、お天気に恵まれた土曜日。子ども29名と大人27名、合わせて56名の方が、「あもはぐ」会場である安茂里公民館へ足を運んでくださいました(*ω*)



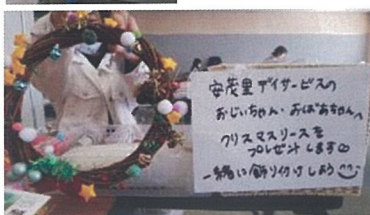
提供品もたくさんいただきました♪
安茂里地区の回覧板にチラシを入れていただけのおかげで、たくさんの方が「もしよければ…」と、提供してくださいました！やっぱり安茂里は、地域のつながりが強いですね。コロナで窮屈だけど、みんなで乗り越えていきましょうね。



軽食コーナーでは、安茂里の老舗パン屋「ルミエール」さんに美味しいパンを用意していただきました。開始30分で終わってしまいました。受け取れなかった子、次回も用意するからね。待っててね。

コロナが広まってしまっているため、手作りコーナーは急遽、テイクアウト方式に変更しました。本当は、みんなでワイワイ楽しみたかったけど(´；ω；)

健康第一！家族で楽しめるよう、「クリスマス手作りキット」を用意しました。出来上がったら、ぜひ次回の「あもはぐ」で、見せてね♪



今回は翠翔会さんから、台風の被災地である長沼の「復興リンゴ」を提供していただきました。篠ノ井布施五明のじいじからは「愛情たっぷりの柿」。信州の秋を存分に味わっていただけたかな？

青木島の小川新聞店さんをはじめ、地域の方からたくさんのお下がり品と食品の提供をいただきました！皆様のあたたかい気持ちに、本当に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

次回、11月28日、無事に開催できますように。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

気持ちを元気に イベント大盛況

長野市 信州子ども食堂 NE NAGANO フェスタに参加



11月14日(土)、長野市で開かれた「2020 ONE NAGANO フェスタ」。台風19号とコロナ禍のW災害で🙄沈みがちな気持ちを元気に！😊と、長野青年会議所の若者が主催しました。信州子ども食堂で支援ブースを開設し、フードドライブ、子ども向けおみやげ付きのゲーム大会、コロナ禍で苦労している学生対象のフードパントリー、お困りの方々向けの相談支援などを行い、物資約6千点を提供しました。👨‍👩‍👧

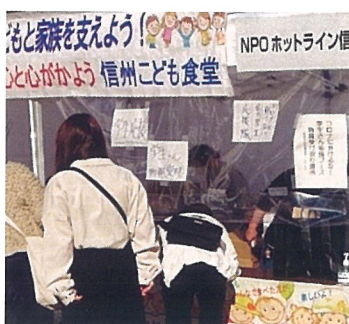


天気の良い暖かな一日。子ども向けの「魚釣り」と「ボールなげ」に、子どもたちは大喜びでした。

信州子ども食堂ネットワークのブースには、子ども78名と大人105名の計183名、うち学生53名と

たくさんの方々がお立ち寄りくださいました。😊

学生さん対象のフードパントリーは、用意した50袋がすぐになくなり、追加でお渡すことができました。



フードパントリーって？

なんらかの理由で生活に困っている人を対象に食品を無料で配付する活動のことを言います。

もとは「食料の保管庫」を意味することばです。




コロナ禍で日頃の発表の機会を失ったこども達や地域の団体によるステージ発表が行われました。こどもたちの伸び伸びとした発表が会場を盛り上げ、イベントは大盛況でした😊

様々な物資や野菜、そして持ち帰り用の袋などのご提供とご協力くださったすべてのみなさま、誠にありがとうございました

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

コロナ禍に勝つ 子どもたちに夢を



11月19日「いい育児の日」

長野合同庁舎フードドライブ

11月19日(木)、「いい育児の日」月間に合わせて、長野地域振興局主催で長野合同庁舎フードドライブが行われ、過去最高の2.5万点6tのご寄贈を戴いたようです。信州子ども食堂ネットワークも多くのスタッフが参加しました👏👏。

早速、11/21の「信州子ども食堂」や12/12「信州子ども食堂あもり」等などの食堂や必要としている家庭に配られています。



ご寄贈品約25000点6tが集まりました。



食品を持ち帰る、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂担当者の皆さん



JAさんから、食材を受取る吉沢長野地域振興局長

11月19日夕方のNHKテレビで放映されました



早速、北信地域の各子ども食堂で持ち帰り活用させていただきました👏👏 また、11月21日(土)に長野市ふれあい福祉センターで開催される「信州子ども食堂」でも利用させていただき多くの子どもたちの笑顔に変わりました。



ご寄贈いただきました企業や市民の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました👏



ここにある いつもの食堂

長野市 信州子ども食堂

11月21日(土)、長野市ふれあい福祉センターで開いた「信州子ども食堂」は、折しもコロナ禍第3波のまただ中。開催中止も考えましたが、予定内容を変更してフードパントリーと手作り弁当の配布を行いました。

参加者は、子ども25名を含む56名と、いつもより少なめでしたが必要としている方がいる限り、いつものこの日、この場所に、信州子ども食堂は、あり続けたいと思うのです😊



11月19日(いい育児の日)に行った長野合同庁舎でのフードドライブでご寄贈いただいた2.5万点6tの食材をはじめ、JA中野さんのきのこ、JAながのさんのお米や食材、マルコメさんの食品などを、ふんだんに使いました。ご寄贈くださった多くのおみなさま、本当にありがとうございました。



<ご寄贈の食材をフル活用したメニュー>

- ★さつまいもおこわ
- ★五目おこわ
- ★里いもコロッケ、キャベツとミニトマトの付け合わせ
- ★ブルーベリーコンポート入りのクレープ
- ★フルーツ(シナノゴールド、柿、キウイフルーツ、みかん)
- ★高野豆腐のグラタン ★浅漬け ★ミニパン



ロビーに、さまざまな食材を並べました。お母さんたちからは、「たくさんの食材をいただき本当に助かります。うれしいです。」と、喜びの声が聞こえてきました。



コロナ禍の厳しい中にも関わらず、参加して下さったみなさん、スタッフとボランティアのみなさん、おひとりお一人本当にかんばってくれました。ありがとうございました。感謝です。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業



必要な方へ届け あもはぐの輪

長野市 安茂里子どもコミュニティ広場「あもはぐ」

11月28日(土)、長野市安茂里の『あもはぐ』子ども食堂には、子ども20名と大人21名の計41名の方が出向いてくださいました。

コロナ禍が不安な中、いま本当に必要なこと…家族の健康と生活を守らなくては！

かわいい子どもたちのためにと、安茂里地区の住民の方をはじめ、遠くは東御市!!からも支援の輪が広がっている「あもはぐ」。楽しみに出向いてくださった方に、万が一が無いように、できる限りの対策をして開催しました。



お下がり市も、当日、会場にたくさんお持ちいただきました♪みんなで乗り越えよう!の「あもはぐ」の輪が広がっています。



必要な方に届きますように

ひとつ一つの品には、提供者さまからの「見えない愛情」がたっぷりです!フードドライブで提供していただいた中で、今回はサンクゼール様のジャムとクラッカー、デイリーフーズ様のジャムを用意しました。JA長野様から提供いただいたリンゴとお米も。「助かります」、「企業の方の気持ちがいい」と感謝の声が!!



お米を30合精米し、3合ずつに小分けしました。安茂里地区のはじっこの小市地区(松ヶ丘小学校区)からは、あまり参加される方がいないのですが、見学にいらしゃった松ヶ丘小児童センター長にサンクゼールのクラッカー2箱をお渡し、松ヶ丘小学校エリアの必要なご家庭へ配布をお願いしました。



『あもはぐ』の名前の由来は…

【羽ぐくもる=ひなが親鳥に羽で包まれる。大切に育てられる】なんです。親鳥である私たち大人、自分の子どもはもちろん、「あもはぐキッズ」みんなを、みんなで見守り育てていけたらいいな、と思います。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

少数スタッフで きれいなお弁当

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ



11月28日(土)、小諸市の相生会館で開いた54回目の「信州子ども食堂 in こもろ」。参加者は、子ども27名と大人29名の計56名でした。



メニューは、「稲荷ずし」にそぼろ、炒り卵、モロッコインゲンをトッピング。当日いただいたキャベツとジャガイモで「和風サラダ」と「ジャガイモ甘辛煮」を作りました。



シイタケは甘辛く煮付け、「シイタケ入りおにぎり」も入れ、「煮りんご」をバラ風に盛り付け。スタッフの分も含め56食の弁当を作りました。「稲荷ずし」に思った以上に時間がかかり、また急ぎよ増やしたメニューもあってギリギリで仕上げました。



11時30分からラインで事前予約をいただいた47人分を配布しました。また、事前にいただいたお菓子と野菜の袋詰めを13世帯分に配布しましたが、12時30分には終了しました。相変わらず参加者からじっくり感想を聞くことはできませんでしたが、最初に受け取りにきた親子から「わあ！きれい」と、おほめの言葉をいただきました。

コロナウイルス感染防止として3密をできるだけ避けるため、スタッフの数を減らして準備しました。



から「わあ！きれい」と、おほめの言葉をいただきました。

NPO ホットライン信州さんからクラッカー2箱、立科の宮下さんから大根・じゃがいも・きゃべつ・玉ねぎ、紺屋町の仲岡さんからお米10キロ、上田の宮下さんからデコポンの缶詰、土屋さんからもりんご15個のご協力をいただきました。

食事をともにできないため、子ども達との交流もできず、また料理の感想も聞けないことで、なにか物足りなさを感じています。一日でも早く従来の食事会ができればと願っています。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

豪華なお弁当に リースづくり！

長野市 信州子ども食堂古里カフェ



11月29日(日)、長野市のふれあい福祉センターで、信州子ども食堂古里カフェを開催しました。参加人数は、子ども11名と大人11名でした。



稲荷寿司弁当、器付きでテイクアウト豪華にできあがりました。



左上は冬瓜のバターほろあかけすき焼き味。中は鶏肉の肉団子。右はりんごとあんずジャムのコンポートです。

リースをつくりました！

コロナ禍で出かけることもできずにいた子どもたちが、楽しそうにどんな作品にしようか迷って考え、はじめてグルーガンを使ってヤケドをしないように慎重に飾り付けをしていました。



上手にできました。みんな満足顔です。



ボランティアセンターの皆さんと記念写真を撮り、お礼を言ってお弁当とジュース、お菓子の詰め合わせを手にとり解散しました。

先日の綿花収穫からリース作りまで、外に出ての活動になりましたが、とても良い体験でした。いもい農場の西沢さん、ボランティアセンターの皆さんに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください



Xmas プレゼント作り コロナ禍で心が結集！

長野市安茂里公民館で清泉女学院大学・短大生がんばる♪

12月11日(金)、長野市安茂里公民館で清泉女学院大学・短大生含む40名が、“子どもたちに温かいXmasプレゼントを届けよう☆”と、県内外から寄せられたお菓子などの袋詰めを行いました。明日12日同会場で、コロナ禍で苦労している子どもとご家族に配られます。

続く信州子ども食堂ネットワークの子どもたちへのXmasプレゼント用(お菓子袋とお米3~5kg 300袋)の袋詰め作業を行いました👩👧👦🍷



◀大きなテントをみんなで組み立てたあと、お米の袋詰め作業に夜おそくまで頑張りました。2~5kg 300袋作業がみんなの力で完了！▶

袋詰めプレゼントなどは、二葉堂、(株)クラダシ、長野牛乳、モランボン株、玄向寺、法光寺、長谷寺らの佛教とキリスト教や農家さんなどの多くの皆さんが「福祉はひとつ」の心で結集しました。



12/12日から、Xmas eveまで配り続けます。

ご協力いただきました当法人スタッフの皆さん・清泉女学院大学の学生さんをはじめ、多くの皆さま方に、心から感謝申し上げます。夜遅くまで、ありがとうございました👩👧👦🍷



プレゼントの完成品



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業



手づくりカード でクリスマス

長野市 信州子ども食堂

12月19日(土)長野市のふれあい福祉センターで開いた「信州子ども食堂」は、元気いっぱいの子どもたち43名を含む96名で、大人が子どもたちから元気もらいました。メニューは、「信州プレミアム牛肉の肉巻きおにぎり」と、おでんと小さなXmasケーキ🍰みんなでワイワイにぎやかなXmasを過ごしたいところですが、がまんがまん！お弁当にして持ち帰りにしました。また、食育では「いただきます」と「ごちそうさま」に込められた意味について学びました。



円福幼稚園から園児が育てたお米

長野市篠ノ井の円福幼稚園で子どもたちが種まきから脱穀まで行ったお米20kgをいただきました。メッセージを添えて、園児6名が届けてくれました。



クリスマスのカードづくり

コロナ禍で大切な人・会いたい人にも満足に会えないご時世に、手作りのクリスマスポップアップカードで想いを伝えようと制作しました😊。

折紙で作ったサンタクロースやXmasブーツを貼ったり、絵やメッセージを書いたり、小さなカードが夢いっぱいの素敵な空間になりました。ボランティアの学生を中心に、大人子どもたちもカード作りに夢中。きっとこのカードをいただいた方は、いつも以上に温かなXmasになれるのでは、と感じました。



長谷谷寺からおすそわけ

おてらおやつクラブに加盟する長野市の長谷寺岡澤慶澄様より、お米50kgとお菓子など600点40kgのおすそわけをいただき、ボランティア活動をしている子どもスタッフ3名が受け取りました。ありがとうございました。



内閣府大臣賞を手に喜ぶスタッフ一同

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

すき焼き弁当で 子育て世帯支援

長野市 信州子ども食堂 in あもり



12月12日(土)、長野市の安茂里公民館で開いた「信州子ども食堂 in あもり」には、子ども86名を含む195名が参加しました。

コロナ禍で苦慮している子どもと家族に「信州プレミアム牛肉のすき焼き弁当や食材と野菜の物資(Xmasプレゼント)」を渡し、受け取った親子は大喜びでした。



新型コロナウイルス感染防止対策の3密を徹底したうえで屋外で提供しました



きれいなサシの入った牛肉に調理担当者も笑みがこぼれました



家庭で作ったツリー

食育の学びコーナーでは、「食べることの大切さを学んで良かった」との感想が聞かれました。綿あめや家庭でつくろう「シトラスリボン」と「まつぼっくりツリー」キットを持って楽しみに帰りました。多くの子どもたちに喜んでいただきました。



ご寄附をいただいた長野篠ノ井ライオンズクラブの西村明子会長へ感謝状を渡す子ども代表の塚田杏奈ちゃん

メニューのすき焼き弁当に使ったのは、農林水産省の食育等推進事業を活用して用意した信州プレミアム牛肉。牛肉以外の食材ほとんどは、地元企業や農家、個人の方々からご寄贈いただき、購入した物はわずかでした。牛すき焼き弁当には、たくさんの愛が込められ、ひと味もふた味もちがうものとなりました。開催に向けてご協力いただいたすべての皆さまに感謝いたします。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](http://hotline-shinshu.jimdo.com/) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

当日のNHKと翌日の信濃毎日新聞で報道されましたので、一部をご高覧ください😊
今回の活動に関わった皆さま、ありがとうございました😊



NHK NEWS WEB 12月12日 18時56分

コロナで生活困る子育て世帯支援

新型コロナウイルスの影響で収入が減るなどして生活に困っている子育て世帯を支援しようと、長野市で、NPOが弁当やお菓子などを無料で配りました。これは子どもたちに食事などの支援をしている松本市のNPO「ホットライン信州」が行ったものです。



子ども2人と訪れた長野市の30代の女性は、「新型コロナウイルスの影響で家庭内の収入が減り食費を削っていました。子どもが食べ盛りになってきたので本当にありがたいです」と話していました。

NPOホットライン信州（信州子ども食堂ネットワーク）の青木正照専務理事は、「新型コロナウイルスに負けないという気持ちを持って新年を迎えてもらいたい」と話していました。



お寺おやつクラブと農家の方からいただいた白菜やじゃがいも、りんごなども提供しました。



子どもに人気のバルーンアート

信州プレミアム牛肉は、12月19日（土）に長野市ふれあい福祉センターで午前11時から開く「信州子ども食堂」で、肉巻きおにぎりにして提供する予定です。お楽しみに♪

長野で「子ども食堂」親子らに振る舞う

NPO法人ホットライン信州（松本市）は12日、「子ども食堂」を長野市安成里の安成里公民館で開き、県産ブランド牛肉「信州プレミアム牛肉」を使ったすき焼き弁当約200個を振る舞った。新型コロナウイルス禍で気持ちが沈みがちな年の瀬に、ちよっとせいたくな弁当を食べて元気を出してほしいとの願いを込めた。

すき焼き弁当で年の瀬を元気に

すき焼き弁当を受け取る親子連れ



信州プレミアム牛肉は風味に優れ、口当たりが柔らかいといわれる。約100gの肉を購入。一部を使い、ハクサイ、シイタケ、ニンジン、焼き豆腐、こんにゃくと甘辛く煮てご飯に載せた。午前11時に受け付けを始める親子連れが訪れ、菓子やジュース、カップ麺の袋詰めと一緒に受け取った。

近所に住む水畑麻里恵さん（32）は「夫の収入が減り、食費を切り詰めていた。とても助かります」。ホットライン信州によると、信州プレミアム牛肉の残りは市ふれあい福祉センターで16日に予定する子ども食堂で「肉巻きおにぎり」にして提供する。



“もったいない”を “ありがとう”の 笑顔につなぐリレー

子ども食堂や必要な人へとどける
“フードドライブ”があります。

1. すてられている食べもの
日本の食品ロスは、年間623万トン
(このうち約半分は家庭から)で、毎日1人が
「お茶わん1杯分の食べもの」をすてている計算
になります。“もったいない”と思いませんか？
2. “もったいない”を集める**フードドライブ**
ご家庭で眠ったままだったり、お店で売
れのこってしまったたり、また食べられるものを
持ちよっていただくのが、フードドライブです。
年に数回、各地域でおこなっています。

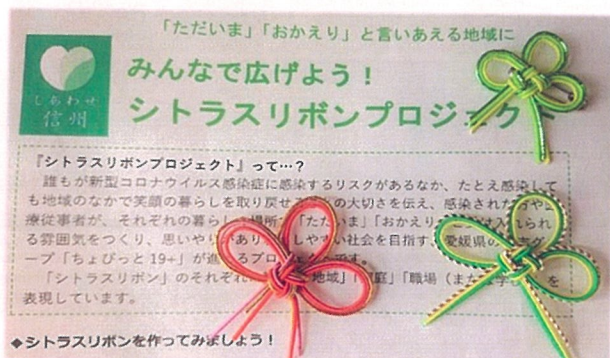


集めたものは、支援が必要なご家庭
や地域の福祉施設、各地の子ども食堂
など必要な家庭にわたります。

3. 集めたものをあずかる**フードバンク・フードパントリー**
企業などからいただくものもふくめて、集まった
ものをいったん、お預かりしているのが **フード
バンク**です。
さらに、食糧支援が必要な家庭に配るための
フードパントリーという拠点をおいています。



フードバンク



シトラスリボン運動をしています。

とてもおいしい
ありがとう



たべものをすてるのは もったいない！

フードドライブ のしくみ



うち お家やお店、
みせ 会社やなどから
かいしゃ

いただきます

長野県庁や
市役所、また、
ライオンズ
クラブなど
多くの皆さん
より集めます



支援必要な
学用品など



さしあげます



ありがとう

ご家庭や子ども
食堂などへ



明日を開く 3つの意義



SDGsの“環境の上に社会・経済が成り立つ”

特定非営利活動法人 NPOホットライン信州「信州子ども食堂ネットワーク」は国連がめざすSDGs（持続可能な開発目標）を支援しています

いまこそ①環境保護、②社会的包摂、③
経済開発（SDGsの持続可能な3要素）の
考えのもと、弱い立場にいる人のことを同
じ立場で理解して、環境や人権を理解し、
子ども食堂を通じて持続可能な地域を社
会をつくる時！



コロナ禍における、フードドライブ ・フードバンクにフードパントリー

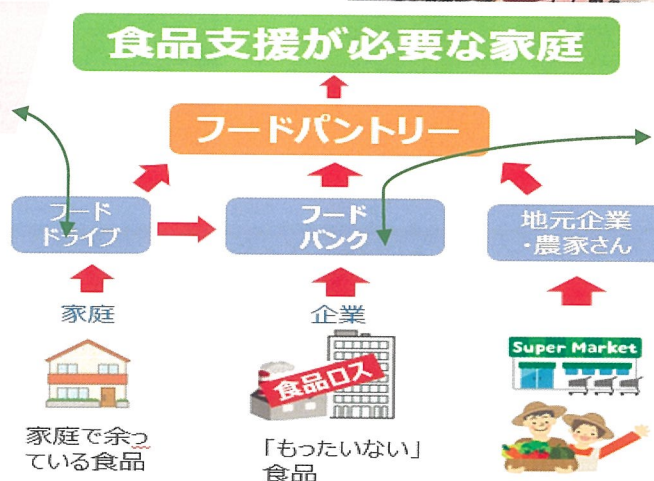
フードパントリー
ってなあに？

食材を配布する場所(NPO ホットライン
信州・信州子ども食堂)などです。



フードドライブ
ってなあに？

集まった食品
を、食事に困って
いる人や子ども
食堂に届けます。



フードバンク
ってなあに？

おうちで眠って
いる食品を持ち
より集め福祉団
体に寄付します。

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレー！ フードドライブ信州子ども食堂応援リレー

日時 11時～13時と 場所

- 2月 6日 (土) 松本市合同庁舎玄関ホール
- 2月 13日 (土) 長野市役所桜スクエア
- 2月 14日 (日) 上田合同庁舎 11時～13時
- 2月 21日 (日) 諏訪合同庁舎

ご寄贈していただきたい品物

【食品】 菓子、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、カップ麺など



【お問い合わせ先】 フードドライブや子ども食堂のこと、支援のご希望やご相談などもおよせください
 主催 : 特定非営利活動法人 NPOホットライン信州 (信州子ども食堂ネットワーク事務局)
 〒399-0011 松本市寿北 5-4-28-1 ☎ 0120-914-994
 共催 : ライオンズクラブ国際協会 334-E 地区(長野県) / (一社) 長野県ライオンズ
 後援 : 一般社団法人 全国食支援活動協会



冷凍コンテナで 生鮮食品を提供

長野市 信州子ども食堂 in 若里フードパントリー

1月11日(月)、長野市若里で「信州子ども食堂 in フードドライブご縁リレー」を開催しました。

子どもたちに新鮮な生鮮食品を届けるようにと、冷凍コンテナを設置したのを機会に、子ども21名を含む50名が「もったいない～ありがとう！」フードパントリー方式の子ども食堂を楽しみました。



信濃毎日新聞 2021年1月12日(火)



子ども食堂に 生鮮食品を

長野で冷蔵コンテナお披露目 寄付に期待

信州子ども食堂ネットワーク(事務局・松本市)は11日、子ども食堂で使用する食材を募る「フードドライブ」を長野市若里の信州プロレス事務所前で開いた。提供された生鮮食品を保存するための設置した冷蔵コンテナのお披露目を兼ね、農協などから早速、キノコなどの寄付を受けた。

信州子ども食堂 ネットワーク

寄付されたキノコをコンテナに運び込む信州子ども食堂ネットワークのスタッフら

この日は近隣の住民が保存が利く食材を持ち寄り、中野市農協などが複数種類のキノコを提供。ネットワークのスタッフらがコンテナに運び入れた。食材を取りに来た市内の「東和田寺子屋カフェ」スタッフの山岸佳代さん(73)は「生鮮食品の購入も行政の支援などで賄っており、寄付されるようになれば運営の支えになる」と期待した。

従来のフードドライブは、長期保存できる食品を中心に寄付を呼び掛け、野菜や肉など生鮮食品は子ども食堂の実施直前に購入することが多かった。保存施設があれば生鮮食品の寄付を呼び掛けることができ、食品廃棄の回避や提供メニューの充実につながる」と昨年コンテナ1台をリースで設置した。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業



イチゴを添えて お弁当を提供

長野市上高田 こどもと誰でも食

1月25日(火)に長野市上高田で開いた「こどもと誰でも食堂」。農林水産省の食育等推進事業で“信州産いちご”の提供を受け、お弁当が華やかになりました。

コロナ禍の現在は室内での飲食を避け、お持ち帰りのお弁当で。「家族の分も」という方も多く、今回は46食を提供しました。いっしょにイチゴに関する「食育だより」とご感想などを聞くためのアンケートをお渡ししました。



メニューは、混ぜご飯、から揚げ、大根の肉巻き、五目煮豆、さつまいも・人参・ブロッコリーのバター煮、たくあん、寒餅、イチゴ。イチゴは大きくてお弁当に入りきらなかったため、別包装でお渡ししました。

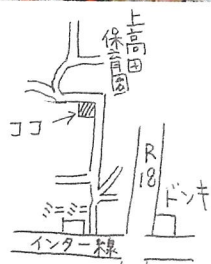


お弁当に添えた「食育だより」から一部を紹介します

イチゴの生食での消費量は、日本が世界一だと言われています。日本のイチゴ品種は約300種と多く、現在も品種改良が重ねられ個性的な品種が続々誕生しています。

お弁当におかずをせっせと詰めています

前回までのお弁当はこちら↓



「なにかな？」と、のぞき込むのも、お弁当のお楽しみ。子どもたちは、混ぜご飯が好きだそうです。

参加費はひとり300円。旬の食材をおいしくいただく“一般家庭の夕食”をイメージして運営しています。献立のご希望やご感想などをいつでもお待ちしております。

<2月の予定>

1日(月)、12日(金)、24日(水)

17時にはお渡しできるよう用意しています。日によって18時を過ぎると全ての配布を終了している場合があります。あらかじめ電話でご予約いただければ用意しておきます。

ご予約やお問い合わせは、
090-5426-3764 高橋

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

第3土曜日は 信州子ども食堂

長野市 信州子ども食堂



1月16日(土)、長野市ふれあい福祉センターで「信州子ども食堂」が開催され、子ども38名を含む計82名が参加しました。

長野県内でも、新型コロナウイルスの感染者が連日50人を超える状況の中ではありませんでしたが、「毎月第3土曜日は、信州子ども食堂の日」が定着しつつあるので、どんなに参加者が少なくても開き続けたい…というスタッフ全員の強い思いのもと、焼き肉弁当&いちごパフェと支援物資の持ち帰りに皆さん大喜びでした。



焼き肉弁当といちごパフェをお持ち帰り用に用意しました。



新型コロナウイルス感染症対策のためお弁当と物資のお持ち帰りでしたが…いつもの顔に会える幸せを噛み締めながら無事に開催することができました。

用意した80食のお弁当は足りないくらいで、ボランティアさんのお昼が無くなるという結果でした。



子ども用に、おかしのおみやげづくり

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

長野の留学生に 食材など配布

長野市 信州子ども食堂 in 若里フードパントリー



1月28日(木)、長野市若里で「信州子ども食堂 in 若里フードパントリー」を開催しました。

コロナ禍により、多くの学生がアルバイトを失い、生活が困窮している状態であると聞き、平青学園の職員の方と信州子ども食堂ネットワークとが企画し、学園の留学生70名へ物資提供を行いました。



SBC テレビ 1月28日夕方放送

長野市民新聞

2021年(令和3年)2月2日(火) 4

留学生に食料を配布

ホットライン信州 コロナ不況で支援

生活困窮者支援などのNPO法人「ホットライン信州・信州子ども食堂ネットワーク」が、松本市は1月28日、新型コロナウイルスの影響で困窮する専門学校「長野平青学園」に、留学生の外国人留学生に食料を配った。
同法人は、19(令和元)年の台風19号被災者支援で同校と協力。つ配布。スタッフが

信州子ども食堂ネットワークは、「心の支え・つながり」を考え、お米 250 キロとリンゴ 150 キロ、里芋 100 キロ、ジュース、食材などを提供しました。学園の職員方は、「学生のこんなに喜ぶ姿を久し振りにみました」と、提供している側も喜びに満ち溢れていました。両手に抱えきれない程の食材を手に笑顔で帰る学生の後ろ姿を見ると嬉しくてたまりませんでした。今後も「お互いさま」という心を大切に活動を進めていきます。

信濃毎日新聞 2021年1月29日(金)

台風被災時の支援 お返しも

長野の留学生に有志が食材

五色のメビウス

信州子ども食堂ネットワーク(事務局・松本市)は28日、新型コロナウイルス感染症拡大で生活が苦しくなっている長野市の専門学校「長野平青学園」の外国人生徒たちに食材を配った。2019年10月の台風19号災害の際、生徒たちが物資を送った同市の被災地の農家や農園、農協が寄贈したリンゴも配布した。



同ネットワークのスタッフリーダーとして食材を集めている伝田清さん(46)らが市内の拠点で配った。リンゴや玉米、サトイモなどがいっぱい詰まった袋で両手がふさがった生徒たちは「助かる。ありがとう」と笑顔を見せた。同校によると、アルバイトの時間や母国からの仕送りが減るなどして、生徒たちは生活費を切り詰めている。「苦しい時はお互いさま」と伝田さん。今後も折を見て、食材を配るといふ。



笑顔で食料を受け取る外国人留学生(左)

「たくさん食べてね」生は「ありがたうござ」と声を掛けると、留学「います」と笑顔で受け取った。
日本語科1年のカムテイエンさん(23)は「ベトナム出身」は「飲食店のバイトが減り困っていたので、とてもうれしい」と喜んで、同法人スタッフリーダーの傳田清さん(46)は「外国に来て学ぶ留学生を応援する気持ちを込めた。今後も続けたい」と話していた。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

感染対策徹底し 上田できらっと

上田市 子どもレストランきらっと



上田市の社会福祉法人まるこ福祉会で開く「子どもレストランきらっと」。

2021年の最初は、1月10日（土）。「第1回うえだ子ども食堂（第29回子どもレストランきらっと）」として、年齢期のお子さんを対象に、場所の広さを利用した大迷路を楽しみました。



参加者は、子どもたちを含めた125名と、上田社会福祉協議会16名、ボランティア・スタッフ29名の計170名。



ドライブスルー形式の子ども食堂で、カレーライス・豚汁・フルーツピザ・あったかい甘酒・お茶とジュース、みかん、野沢菜漬けなどを提供しました。

次々に訪れるドライブスルーは、盛り付けも大忙しでした。



2月6日（土）は、「第1回子どもレストランきらっとまつり」。わたあめ・ポップコーン作りの体験メニューと、屋台形式で自由を選ぶ食事またはテイクアウトメニューを用意しました。

参加者は、児童115名と保護者ら363名、ボランティア・スタッフ72名の計550名。



屋台とキッチンカーでは、焼きそば、豚汁、おしるこ、たこ焼き、フライドポテト、甘酒、クレープ、蓼科牛串焼き、ハットグ、ヨーグルト、野沢菜漬け、ラテアートコーヒー、ポップコーン、わたあめ、コーヒー、お茶を提供しました。



室内では、大道芸・ピアノ・演劇の披露やブラールール遊び、わたあめ・ポップコーン作りの体験など。あそぼう☆まなぼう☆たべよう☆の空間で、大いに楽しんでいただきました。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

広がれ思いやり と支えあいの絆

長野市 信州子ども食堂フードバンク&フードパントリー



2月13日(土)、長野市の桜スクエアで、コロナ禍における 広がれ!!「思いやりと支えあいの絆♡」のフードドライブ&フードパントリーを開催しました。



寄贈者は 74 名!フードドライブで集まった支援物資はなんと 5,000 点!合計で 1 トンを超える物資が集まりました。



信州子ども食堂には子ども 39 名を含む 82 名に参加いただきました!(^)!



メニューは天ぷら弁当!!、オクラ天、かしわ天、エリンギ天の3種類の天ぷら。特におくら天にはオクラの中にはコーンが詰められていました。食べたことがない天ぷらでしたがとてもおいしく、創造性がありました。コーンの甘味とオクラは



合うんですね~(≧▽≦) お弁当一個でとても満腹になりました。『満足!満足!』でした。



長野市民新聞 2021年2月18日

生活弱者ら支援 菓子や弁当配布

NPOが市役所で



生活弱者らを支援するNPO法人ホットライン信州||松本市||は13日、家庭で余った食品を集める「フードドライブ」と、食品を必

要とする人たちに配る「フードパントリー」のイベントを長野市役所前で開いた。食品を持ち込める機会にも

長野県ライオンズクラブ様から 10 万円分の食材を中村吉秀(左写真)さんからお受けしました。感謝をこめて、子どもたち自ら感謝状を読み渡しました。



北村通将(右写真)さんからご寄附とお米を受け取り、感謝状を渡す子どもたち。

後ろにある段ボールは、長野県ライオンズクラブ様からご寄付していただいたインスタント食品です。

明治ホールディングスさんからたくさんのチョコレートをいただき、子どもたちは大喜びでした。

新型コロナウイルスの影響で困窮する人を支えよと、21日まで県内4カ所で開催予定。この日は県内約50のライオンズクラブでつくる一般社団法人「県ライオンズ」から約10万円分の食品の寄贈を受け、NPO法人がライオンズ関係者に感謝状を渡した。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業



上田で6千点超 フードドライブ

上田合同庁舎 フードドライブ

2月14日(日)、上田合同庁舎でNPOホットライン信州主催の「フードドライブ」が開催されました。寄贈者は82名で集まった支援物資は、なんと6,128点!合計で360キロを超える物資が集まりました。



受付を担った長野大学と清泉学院の学生ボランティア・スタッフは、(株)アマナ様ご寄贈のTシャツを着用。



和田小学校児童会から支援物資をいただき、当法人子ども代表から感謝状とバレンタインデーチョコを全生徒にプレゼントしました。



信州ハム(株)さんより、オニオンスープ1000個をいただきました



10万円相当の食材を上田地区ライオンズクラブさんから戴きへの感謝状を渡しました。



上田の滝沢一秀さんや長野中央 LCの伊藤さんからも物資を戴きました。



バルーンアートをつくり子どもたちへ配布

たくさん集まった物資を確認しながら、腹話術でお礼をする、当法人滝沢理事。



<小諸食堂の小林さんのコメント>

『信州子ども食堂応援リレー』(フードドライブ)で長野大学、清泉女学院大学の学生さんや子どもたちといっしょにお手伝いしました😊そして、ものすごくたくさんの物資をいただいて、夕方からは、『信州子ども食堂 in こもろ』と「子ども食堂みよた」の食堂で活用したい』と感謝を述べられました。

皆で作りに上げる 笑顔の食堂

長野市 信州子ども食堂



2月20日(土)、長野市の『信州子ども食堂』には、子ども42名含む69名が参加しました。

昨今のコロナ禍の影響で活動範囲が狭くなってしまっていますが、今回もスタッフやボランティア全員の思いで、子どもたちの笑顔があふれた

子ども食堂でした。



お弁当は、味がジャガイモの中までしみ込んだ肉じゃが(北海道産の牛とジャガイモ含む)、海鮮えび餃子、ほうれん草と生ハムの炒め物、なめこと長芋のかき揚げ、ごま昆布、ごはん(新潟産コシヒカリ)、

フルーツたっぷり牛乳寒天のデザートと支援物資の持ち帰りに喜んでいただきました。お弁当の材料も支援物資で工夫して作っています。

開催2日前に、会場での飲食が可能になった旨の連絡を受けましたが、まだ警戒も必要とスタッフで相談して、予定通りお弁当と物資のお渡しで開催しました。学生のボランティアさんも大勢見えてくださったので本当なら、子どもたちとたくさん遊んで欲しかったのですが…今回までは、それもお預け…いつも参加くださるボランティアスタッフのみで、なさまと一緒に、調理やお弁当の盛り込み、物資の袋詰めをしました。物資も、県内外の企業や個人の皆様のご協力により、多くの食材を活用することができました。



<大学生ボランティア山中玲奈さんの声>

まだまだコロナ禍が続きますが、スタッフのおかげで終わることができたのは嬉しいことです!(^^)!。子ども食堂を支えているのは大人のスタッフやボランティアだけではありません!!。子ども食堂を陰で支えている子どもたちもいます!。子ども食堂のポスターや垂れ幕の貼り付け、支援物資の仕分け、お弁当作りなど。

信州子ども食堂は老若男女問わず皆で作りに上げています!!

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業



つながり大事に サポートを継続

長野市 信州子ども食堂 in 若里フードパントリー

2月24日(水)、長野市の平青学園ロビーで「信州子ども食堂 in 若里フードパントリー」を開催しました。

コロナ禍により、多くの学生がアルバイトを失い、生活が困窮している状態であると聞き、信州子ども食堂



ネットワークが学園の留学生70名へ2回目となる物資提供を行いました。



前回、物資を受け取った学生から「お米がとても美味しかった。本当にありがとうございます」と、喜びの声をもらいました。

世界がコロナ経済ショックで大変ですが、学生の笑顔で私たちも元気をもらいました。

お米(約4キロ)とラーメン、お菓子、のど飴を受け取った学生たち



コロナのため、留学生の多くがアルバイトを削られ、海外で暮らす親からの支援も期待できず、生活が厳しい状態が続いています。

共に信州で生活する仲間として、今後も継続して「つながり」を大切にサポートしていきたいと思います。



フードパントリーの中心的な役割を担った、平青学園国際部の滝沢知彦部長

台風19号被災者支援時の 長野平青学園の留学生ら

2019年11月台風被災地支援として長野平青学園の留学生の皆さん38名は、台風19号被災者へ贈るタオルを約200枚を集めました🙏🏻🙏🏻その助け合いの善意を受け、更にNPOホットライン信州に集まった支援物資を加えて、昨年1月21日(火)、お米・生活用品・お菓子など3種類の袋詰め作業を行いました🙏🏻



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

0円スーパー式 で食材を提供

中野市 なかの子ども食堂



子ども食堂が11月以来、今回2月27日(土)にテイクアウト方式で、いただいた食材をお裾分けする企画で開催しました。この間も食材提供の申し出があり、今まで「開催を見合わせているので」とお断りし続けていました。子ども食堂を居心地よく利用している方からは開催を望む声があること、「困っています」という申し出は聞かれないけれど、言えないだけでいるはずということから今回の形式に行き着きました。各地で食材提供会が開催されていることもあり、もっと早く開催すれば助かる方もいたのではとも思いました。



当日、個人的に食材を提供に来てくださった方は10人ほど。社協のフードドライブやNPOホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)を通じて、思った以上のたくさんの食材が集まりました。「だれも来なかったら、この食材はどうしよう。」と言うことは杞憂に終わり、ほとんど売り切れました。

先んじて食材配布をしていた飯山子ども食堂の荻原さんのアドバイスは、「遠慮がちな人が多いから押し売りをする」その通りでした。スタッフみんなで「もっと持って行って」「車まで運びます」「もう1枚袋を使って」とすすめました。25人ほどが利用しました。スタッフは11人。このうち、高校に合格が決まったばかりの若者・高校生・青年が久しぶりに顔を合わせ楽しそうでした。

食材は、自家菜園で食べきれない野菜、直前に樽から出したての漬物・茹でて小分けにしたカボチャ。直前に掘り出して洗ったり、枯れた葉っぱを取り除いて使いやすくする手間をかけてある野菜、油やお茶、洗剤やティッシュなどの消耗品なども喜ばれていました。

いつもと違う企画でよかったこともあります。参加者の中に「子ども食堂を知らなかったけれど、参加したいから知らせてください」という申し出があったことです。

コロナが県内では収まってきていることから、今回は通常の開催をしたいと思いつつ、食材提供も「使い切れない分のお裾分け」から少し広げてもいいのかと考え中です。



NPO ホットライン信州から渡した食材など

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

ライン予約で お弁当など配布

小諸市 信州子ども食堂 in 小諸



2月20日(土)、小諸市相生町の「相生会館」で57回目の「信州子ども食堂」を開きました。参加者は、子ども31名と大人・スタッフ29名の合計60名でした。

メニューは、五色弁当、フルーツサラダ、野沢菜漬けのおかかあえ、インスタントみそ汁です。コロナウイルスの感染防止の3密を避けるため、短時間でできるように心掛けました。ごはんの上に鶏ひき肉、卵、ほうれん草、にんじん、しいたけをのせ五色の色どりで工夫し、スタッフの分も含め60食の弁当を作りました。



相変わらず参加者からじっくり感想を聞くことができませんでした。引取り時に「いつもありがとうございます」、「感謝しています」との感想をいただきました。



事前にラインでチラシを配信し、1日で49名の予約が入りました。

11時30分から配布を行い、いただいた各種お菓子とドンコシイタケを袋詰めして12世帯分に配布しましたが、12時10分には終了しました。

ホットライン信州さんからカップ焼きそば、スナック菓子、フルーツゼリー、レトルトスープ。ホクトさんからドンコシイタケ3袋、紺屋町の仲岡さんからお米10キロ、匿名さんからお供え餅8個、千野さんからりんご等のご協力をいただきました。



佐久長聖高校3年生の竹田理沙さんが参加して、この4月から清泉女学院大学短大に入学後も「できるだけ参加したいです」との感想があり、さらに今後も若いスタッフの参加を広く呼び掛けて行きたいと思いました。

コロナ終息までにまだ時間がかかると思われますので、新たな「子ども食堂の在り方」を試行錯誤しながら考えていく必要があると思います。当面はお弁当のテイクアウト方式と思いますが、食事を共にできないため、子ども達との交流もできず、また料理の感想も聞けないことで、何か物足りなさを感じています。一日でも早く従来の食事会が開催できればと願っています。

家に帰ってからの会話等で、何か心に残るものがあったのならこの「子ども食堂」はそれなりに意義があったのではないかと思います。今後も100回に向け挑戦しようと思います。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

みんなの力で内閣府大臣表彰を受賞



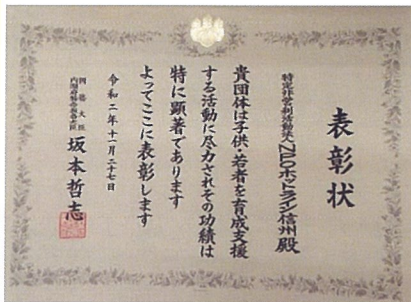
祝受賞 令和2年度 子供と家族・若者応援団表彰

信州子ども食堂ネットワークを運営するNPO法人ホットライン信州が、11月27日（金）東京都内の内閣府講堂で、令和2年度「子供と家族・若者応援団表彰」の内閣府特命担当大臣表彰を受賞しました。

子どもや若者を育成支援する活動で顕著な功績があったと認められたもので、長年の活動に加え、新型コロナウイルスの影響下でも感染対策を徹底して食品や生活必需品の提供などを続けたことから、長野県の推薦を受けたものです。



受賞後、坂本哲志内閣府特命担当大臣（少子化対策 地方創生）（写真右）と記念撮影したホットライン信州の青木正照専務理事



表彰状と高級なクリスタルグラス製の盾

11月28日の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」のスタッフの皆さんと受賞を祝いあいました



<ホットライン信州の取り組み>

24時間対応の無料電話相談や面談、同行による自立支援とケア、居場所や無料で食事を提供する「信州子ども食堂」、「まちのプラットフォーム」をめざした生活相談や食育、子どもの学び支援、フードバンク・フードパントリー事業など、生活困窮者の支援に多角的に取り組んでいます。

約3200点の食材や支援物資を集めた「子ども応援リレー」



この受賞は、私どもの事業に賛同しご支援をいただきました企業・団体・個人の皆さまと直接活動に関わったスタッフ・ボランティアの方々、お一人おひとりの「心合わせ」と「力合わせ」の成果が繋がったものです。皆さまに厚く御礼申し上げます。

今もなお、コロナ禍で苦勞している子どもや家族のためにも、さらに力を合わせて共になんばっていきましょう！（受賞の記事が11月28日の信濃毎日新聞と市民タイムスに掲載されました）

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

長野県地域発 元気づくり支援金 活用事業

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

内閣府特命大臣表彰

力
合
わ
せ

心
合
わ
せ



この栄光は、信州子ども食堂と信州子ども食堂ネットワークの仲間らの力の結集です。



信州子ども食堂 in あもりでのスタッフメンバー



小諸市 信州子ども食堂 in こもろ



☞ 信州子ども食堂
「古里カフェ」の仲間

信州子ども食堂
古里カフェの仲間 ☞



信州子ども食堂ネットワークの各食堂で活躍する「清泉女学院大学・短大生」の仲間

〈編集〉信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  **0120-914-994**
特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/>
各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州

- <本部> 松本市寿北5丁目4番28-1
電話 0263-75-8368
- <東北信事務所> 長野市三本柳西2-74
(にっこりフードバンク NPO ホットライン信州)
電話 080-3418-0088
- <台風19号被災地長野北部事務所>
長野市上駒沢356-102 西
電話 090-6473-9455
- <中南信事務所> 塩尻市大門4番町1-3 福祉の里あじさい
電話 0120-914-994
- <北信なかの飯山事務所> 中野市西条1089 駄菓子屋G
電話 080-3541-7377